

令和元年度入学生2年次開講

# シラバス

幼児教育保育学科

幼児教育保育学科専門科目

音 楽	Ⅲ	松 井 典 子 柚 木 たまみ 他	156P
図 画 工 作	Ⅱ	深 尾 秀 一	158P
造 形 保 育		安 井 良 尚	160P
幼 児 体 育	Ⅲ	山 中 博 史 北 尾 岳 夫	162P
情 報 処 理 基 礎	Ⅱ	林 泰 子	164P
算 数		久 米 央 也	166P
教 育 の 方 法 及 び 技 術		李 霞	168P
保 育 ・ 教 育 課 程 論		李 霞	170P
保 育 者 論		永 久 欣 也	172P
総 合 表 現	Ⅱ	松 井 典 子 高 橋 仁 美	174P
領 域 指 導 法 ( 人 間 関 係 )		林 幸 範	176P
乳 児 保 育 Ⅱ ( ① ③ )		内 藤 幸 枝 森 孝 子	178P
乳 児 保 育 Ⅱ ( ② ④ )		内 藤 幸 枝 森 孝 子	180P
特 別 支 援 教 育 ( 幼 教 )		太 田 容 次	182P
子 ども の 食 と 栄 養 ( ① ③ )		原 小 谷 知 子 小 谷 清 子	184P
子 ども の 食 と 栄 養 ( ② ④ )		原 小 谷 知 子 小 谷 清 子	186P
子 ども の 健 康 と 安 全		飯 盛 順 子	188P
子 ども 理 解 と 援 助 の 心 理 学		別 示	190P
児 童 ・ 青 年 期 の 心 理 学		林 幸 範	192P
幼 児 理 解 と 教 育 相 談		別 示	194P
子 ども 家 庭 支 援 論		松 木 宏 史	196P
子 ども 家 庭 支 援 の 心 理 学		林 幸 範	198P
子 育 て 支 援		浜 崎 由 紀	200P
地 域 福 祉		岡 本 芳 也	202P
手 話	Ⅱ	原 田 直 子	204P
保 育 実 習 指 導 Ⅱ ( 保 育 所 ) A		浜 崎 由 紀 永 久 欣 也 三 上 佳 子	206P
保 育 実 習 指 導 Ⅱ ( 保 育 所 ) B		浜 崎 由 紀 永 久 欣 也 三 上 佳 子	208P
保 育 実 習 指 導 Ⅱ ( 保 育 所 ) C		浜 崎 由 紀 永 久 欣 也 三 上 佳 子	210P
保 育 所 実 習	Ⅱ	浜 崎 由 紀 永 久 欣 也 三 上 佳 子	212P
保 育 実 習 指 導 Ⅱ ( 施 設 )		林 松 木 幸 範 松 木 宏 史	214P
施 設 実 習	Ⅱ	林 松 木 幸 範 松 木 宏 史	216P
教 育 実 習 ( 事 前 事 後 指 導 を 含 む ) 1		柚 木 たまみ 三 上 佳 子 久 米 央 也	218P

教育実習（事前事後指導を含む） 2	柚木 たまみ 三上 佳子 久米 央也	220P
教育実習（事前事後指導を含む） 3	柚木 たまみ 三上 佳子 久米 央也	222P
保育・教職実践演習（幼稚園）（①①③①）	林 幸 範 永 久 欣也 李 上 佳子 三 上 佳子	224P
保育・教職実践演習（幼稚園）（①②③②）	林 幸 範 永 久 欣也 李 上 佳子 三 上 佳子	226P
保育・教職実践演習（幼稚園）（②①④①）	林 幸 範 永 久 欣也 李 上 佳子 三 上 佳子	228P
保育・教職実践演習（幼稚園）（②②④②）	林 幸 範 永 久 欣也 李 上 佳子 三 上 佳子	230P
専 門 演 習 I	柚木 たまみ	232P
専 門 演 習 I	北尾 岳夫	234P
専 門 演 習 I	深尾 秀一	236P
専 門 演 習 I	松木 宏史	238P
専 門 演 習 I	久米 央也	240P
専 門 演 習 I	李 霞	242P
専 門 演 習 I	浜崎 由紀	244P
専 門 演 習 I	松井 典子	246P
専 門 演 習 I	林 幸 範	248P
専 門 演 習 I	永 久 欣也	250P
専 門 演 習 I	三 上 佳子	252P
専 門 演 習 II	柚木 たまみ	254P
専 門 演 習 II	北尾 岳夫	256P
専 門 演 習 II	深尾 秀一	258P
専 門 演 習 II	松木 宏史	260P
専 門 演 習 II	久米 央也	262P
専 門 演 習 II	李 霞	264P
専 門 演 習 II	浜崎 由紀	266P
専 門 演 習 II	松井 典子	268P
専 門 演 習 II	林 幸 範	270P
専 門 演 習 II	永 久 欣也	272P
専 門 演 習 II	三 上 佳子	274P
公務員教育保育職特別講義 II	久米 央也	276P

### 幼児教育保育学科選択自由科目

レクリエーション演習（幼教）	山中 博史	278P
レクリエーション指導法実習（幼教）	山中 博史	280P

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>音楽Ⅲ</b>	松井 典子(専 任) 柚木たまみ(専 任) 他	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Music Ⅲ							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・伴奏を簡易化できる知識を身に付け、コード奏による弾き歌いのレパートリーを増やす。 ・童謡弾き歌いのレパートリーを増やすとともに、伴奏技術を高める。 ・より音楽的な演奏が出来るようにピアノ演奏技術や表現力の向上を目指し、実践することができる。							
<b>授業の内容</b> 国際バカロレア (IB) 認定校のプライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) において幼児音楽教育の実務経験を持つ教員による演習授業である(松井)。 音楽Ⅰ・Ⅱで習得したピアノ奏法を基に応用、発展し学外実習や卒業後、現場で活用することができる実践力を身につける。 クラス授業〔45分〕では、主要三和音・コードネームを理解し、童謡の簡易伴奏付け、伴奏形のアレンジ、活動目的に応じたリズム遊びの伴奏法について学びを深める。また、コードによる簡易伴奏付けによる弾き歌いのレパートリーの強化を行う。クラス授業の弾き歌いでは、ピアノ片手連弾奏を適宜取り入れ、旋律と伴奏のバランス、歌唱と伴奏のバランスを考え、弾き歌いの技能のスキルアップを目指す。 ピアノレッスン〔45分〕は3人単位のグループで、1人15分の個人レッスンを行う。コードネームによる童謡の伴奏付けと、音楽表現の幅を広げる目的で「ブルグミュラー25の練習曲」「ソナチネアルバム」「ソナタアルバム」など個々の進度に応じた楽曲の習得を目指す。							
教科書	『子どもの音楽表現・うたあそび』 柚木たまみ 松井典子他 (三学出版) 価格(本体2,100円+税)(1回生で購入済) ピアノへのアプローチsteps 伊藤嘉子他 (音楽之友社) 価格(本体2,600円+税)(1回生で購入済)						
参考書	授業内で適宜提示する						
担当者からのメッセージ	ピアノ教則本は、「バイエル」「ブルグミュラー25の練習曲」「ソナチネ」「ソナタ」等 個々の演奏技能に応じて担当者が指示します。本授業は、学外実習や卒業後、現場で弾き歌いやリズム遊びに即実践することができるピアノ奏法を身に付けることを目的としています。楽器演奏の習得は、日々の練習の積み重ねが大切です。15回の授業には、必ず復習・予習し、ピアノ課題を練習して臨んでください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業内で行う課題や試験は、個々にコメントし、今後の練習方法をアドバイスする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度				
	授業内試験	20	歌唱テスト(弾き歌い課題)				
	定期試験	50	ピアノ実技試験				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	松井研究室 火曜日 12時15分～13時 その他随時受付(電子メールによる事前予約が望ましい) 柚木研究室 金曜日 16時10分～17時 その他随時受付(電子メールによる事前予約が望ましい)						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井) t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	音楽Ⅱの振り返り 音楽Ⅲの課題を発表 音程について(長三和音、短三和音、減三和音、増三和音) ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	音楽Ⅱの振り返りをしておく ピアノ曲の練習	210
2 /	短音階について(イ短調を例に挙げて) 長音階の復習 主要三和音について ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
3 /	前回の振り返り 主要三和音について コードネームについて ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
4 /	主要三和音について コードネームの解説(C Major) コードネームによる弾き歌いモデル1 ピアノ個人レッスン (C Major)	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
5 /	コードネームの解説(C Major) 和音の転回と連結 コードネームによる弾き歌いモデル2 (C Major) 伴奏形のアレンジ ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
6 /	コードネームの解説(G Major) 和音の転回と連結 コードネームによる弾き歌いモデル1 (G Major) ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
7 /	コードネームの解説(G Major) 和音の転回と連結 コードネームによる弾き歌いモデル2 (G Major) 伴奏形のアレンジ ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
8 /	G Majorのまとめ コードネームによる弾き歌いモデル3 (G Major) 伴奏形のアレンジ ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
9 /	コードネームの解説(F Major) 和音の転回と連結 コードネームによる弾き歌いモデル1 ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
10 /	コードネームの解説(F Major) コードネームによる弾き歌いモデル2 伴奏形のアレンジ ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
11 /	F Majorのまとめ コードネームによる弾き歌いモデル3 伴奏形のアレンジ ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
12 /	コードによる弾き歌いモデルの振り返り1 歌唱テスト(弾き歌い課題曲から)の予告 ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習 歌唱試験課題の練習	210
13 /	コードによる弾き歌いモデルの振り返り2 歌唱試験課題の練習 ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習 歌唱試験課題の練習	210
14 /	歌唱テスト ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	歌唱テスト	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習 歌唱試験課題の復習	210
15 /	まとめ 振り返りと成果の確認 ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>図画工作Ⅱ</b>	深尾 秀一(専 任)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Arts and Crafts II							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・保育における実践的展開を支える基礎技能として、造形表現の基本的な、空間、形、質感、量感、構成などを学び理解する。 ・作品制作体験を通して、造形の分野でこどもの表現を積極的に展開できる基本的事項とその要因を理解する。 ・自らの感性を磨き、造形の分野での表現を積極的にできる。							
<b>授業の内容</b> 造形表現の分野の、空間・形・構成の基礎について学ぶ。様々な素材を使いながら立体作品や版画を制作することにより、材料や用具の特性や取り扱いに慣れるとともに、造形表現活動の楽しさを感じ、自らの感性や表現力を磨く。併せて、幼児の表現の姿やその発達を理解と幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などについて実践的に学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	毎回授業の初めに課題制作についての説明を行います。制作のための汚れてもいい服装など準備も大事なポイントです。教科書は図画工作Ⅰで購入したものを使います。積極的に課題制作に取り込みましょう。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	課題制作作品については、個々評価し返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業に対する主体的な学びを評価する				
	授業内試験	10	理解度確認のためのテストを実施				
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	各課題の、造形表現における基本的事項について評価する				
自由記載							
オフィスアワー	深尾研究室 水曜日 16時10分～17時10分(事前予約が望ましい) その他メールでの質問随時受付 件名に学籍番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	h-fukao@sumire.ac.jp (深尾)						
教員相互授業参観	8回目の授業を公開する(参加の2週間前までにご連絡ください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP2)【知識・理解】幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	釘うちあそび 1 木片材料の切断	深尾	講義と演習 課題作品制作	道具の使い方をまとめ、実際に使えるように理解する	90
2 /	釘うちあそび 2 くぎ打ち、完成、提出	深尾	演習 課題作品制作	必ず授業前までに、部品の木片を切断しておき釘が打てる状態しておく	90
3 /	土粘土による表現1 基本パーツの制作	深尾	演習 粘土を使った活動を体験	教科書を参考にし、土粘土の制作過程をしっかりと学んでおく	90
4 /	土粘土による表現2 組み立て	深尾	講義と演習 課題作品制作 課題作品の完成予想図を制作	乾燥の進み方に注意し湿度を調整しておく	90
5 /	土粘土による表現3 成形の完成	深尾	演習 課題作品制作 完成予想図をもとにパーツ制作	組み立てられた作品の乾燥度合いを調節し素焼きまでしっかりと乾燥させる	90
6 /	版画による表現1 紙版画版の制作	深尾	演習 課題作品制作 パーツを合体させ成形	授業をまとめ、教科書の版画のところをしっかりと読み理解する	90
7 /	版画による表現2 スチレン版画版の制作	深尾	演習 課題作品制作	紙版画 スチレン版を完成し、刷り前日までにのりを乾燥させる	90
8 /	版画による表現3 紙版画、スチレン版の刷り	深尾	演習 課題作品制作	刷りを行った状況や、環境設定をまとめる	90
9 /	紙を使った表現	深尾	演習 課題作品制作	紙による、3次元表現の可能性についてまとめておく	90
10 /	グリーティングカード1 構想と試作	深尾	演習 課題作品制作	立体カードの基本を考えておく	90
11 /	グリーティングカード2 完成	深尾	演習 課題作品制作	相手の情報や、相手への思いをカードの表現する手法を調べておく	90
12 /	総合技法による表現1 保育の構想	深尾	演習 グループワーク 課題作品制作	表現の技法集を参考に原画を完成させる	90
13 /	総合技法による表現2 教材及びオブジェの制作	深尾	演習 グループワーク 課題作品制作	教材や部品を完成させる	90
14 /	総合技法による表現3 作品の完成と展	深尾	演習 グループワーク 課題作品制作	課題制作をとおして学んだことをまとめる	90
15 /	土粘土による表現4 作品焼成後の着色仕上げ、提出 & 総括(小テスト)	深尾	講義と演習 課題作品制作	図画工作IIで学んだことをまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>造形保育</b>	安井 良尚(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Creative Art in Childcare							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・ 幼児の自由な造形表現活動を保障し、安心安全に育てる上での必要な配慮や内容について理解する。 ・ 環境設定や、造形素材や用具類の扱いから、準備、片付け、保管方法に至る具体的手順を身に付け、保育現場で活かせることができる。							
<b>授業の内容</b> 保育者は、モノと戯れる中で生み出される幼児の造形を、開かれた心で受けとめることが要求される。また、幼児の描きつくるそのあるがままの姿を、幼児の側に立って、とらわれのない目でしっかりと見据えることが重要である。さらに、幼児が安心して安全に造形活動が行えるような環境や素材への理解を深めなければならない。この授業では、幼児の造形表現の特色・意義を考え、具体的な配慮や内容のあり方について演習の中から学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	卒業後すぐに活躍できるだけの力をつけるために、準備から場の設定、後片付け至るまで、すべて受講生の手で行います。積極的に制作活動を楽しみ、主体的にグループ活動にも参加し、意欲的な学習態度で取り組んでください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出課題については、評価し返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	70	各課題に対する主体的な学びを評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	30	制作課題作品を評価				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	yoyasui.23@gmail.com (安井)						
教員相互授業参観	13回目の授業を公開する（参加の2週間前までにご連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身に付け、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 保育と造形教育について 教材や素材全般の基礎知識 紙による型取り	安井	講義と演習	造形表現と保育について講義をまとめる 保育所、幼稚園で使用されている造形素材について、調べまとめる	90
2 /	ハロウィンのための造形活動(1) 紙によるカボチャからの型取り1 ランタンの制作	安井	演習	海外の文化を学ぶ	90
3 /	ハロウィンのための造形活動(2) 紙によるカボチャからの型取り2 ランタンの完成	安井	演習	準備や活動の流れをまとめる	90
4 /	幼児の造形素材と技法研究(1) 絵の具での表現	安井	演習 グループ活動	言葉との関係、造形表現方法として学ぶ オノマトペを絵の具を使って表現する	90
5 /	幼児の造形素材と技法研究(2) 絵の具であそぶ	安井	演習 グループ活動	絵具の表現性、筆や描画用具の制作、からだ全体を使ったドリッピングなどの表現についてまとめる	90
6 /	幼児の造形素材と技法研究(3) 空間あそび1 トイレットペーパーを使って	安井	演習 グループ活動	空間あそびのための環境設定や流れをまとめる	90
7 /	幼児の造形素材と技法研究(4) 空間あそび2 ゴミ袋を使って	安井	演習 グループ活動	空間あそびのための環境設定や流れをまとめる	90
8 /	幼児の造形素材と技法研究(5) 砂場であそぶ1 管理と準備	安井	演習 グループ活動	砂場の管理などについて学ぶ	90
9 /	幼児の造形素材と技法研究(6) 砂場であそぶ2	安井	演習 グループ活動	準備や活動の流れをまとめる	90
10 /	幼児の造形素材と技法研究(7) 版画遊び1 凸凹を刷り取る	安井	演習	レリーフなどの凸凹を写し取る	90
11 /	幼児の造形素材と技法研究(8) 版画遊び2 色であそぶ	安井	演習	スタンピングなどの間接表現について学ぶ	90
12 /	幼児の造形素材と技法研究(9) おもちゃの制作	安井	演習	素材の安全な使用方法について学ぶ	90
13 /	幼児の造形素材と技法研究(10) おもちゃの完成	安井	演習	完成したものを使えるように調整しておく	90
14 /	様々な表現について まとめ	安井	演習	課題のノートを完成させる	90
15 /	多様な背景を持つ幼児の造形と幼児の造形表現の理解と総括	安井	講義	多様な児童について調査しまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>幼児体育Ⅲ</b>	山中 博史(専任) 北尾 岳夫(専任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
Physical Education and Exercise for Children Ⅲ							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・幼児体育Ⅰ・Ⅱで得た指導法等を活かして、実際に園児の指導ができることを目指す。							
<b>授業の内容</b> 幼児体育Ⅰ・Ⅱで得た指導法等を元に、実際に子どもへ運動指導を行う。幼児体育Ⅲは附属幼稚園の協力を得て、すみれルームに参加する園児の体育活動の補助や、実際に指導を行う。これらの体験を通じて、幼児の実態を捉え、自分と幼児の認識の違いを知り、運動あそび等の指導力向上を目指す。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	本演習は、短大の附属幼稚園の協力のもと、すみれルームに参加する園児を対象に指導を行う。特に安全面での配慮を十分にしてもらいたい。 受講態度は、演習に積極的に参加しているかどうかで評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	指導の前に指導案を作成し、担当の教員に提出して指導を受けること。 指導後は振り返りを行い、次の指導に活かすこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	積極的に保育に関わっているかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	振り返りのレポートを提出し、評価する				
	その他	30	園児の指導が適切に行われているか評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	山中研究室 月～水曜日 16時30分～18時 北尾研究室 月～木曜日 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp（山中） t-kitao@sumire.ac.jp（北尾）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	授業の全体を把握する	北尾 山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	器具を使わない体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
3 /	器具を使わない体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
4 /	縄を使った体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
5 /	縄を使った体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
6 /	マットを使った体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
7 /	マットを使った体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
8 /	巧技台を使った体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
9 /	巧技台を使った体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
10 /	トランポリンを使った体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
11 /	トランポリンを使った体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
12 /	ボールを使った体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
13 /	ボールを使った体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
14 /	それぞれのクラスで園児の希望する体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
15 /	振り返り・レポート	北尾 山中	講義	今までを振り返りレポート作成	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>情報処理基礎Ⅱ</b>	林 泰子(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Basic Information Processing Ⅱ							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・表計算ソフトの基本操作ができる。また表計算ソフトを用いて園児台帳等の作成ができる。 ・プレゼンテーションソフトの基本操作ができる。また、幼児教育教材作成ができる。 ・社会人としての情報モラル・個人情報について理解を深めることができる。							
<b>授業の内容</b> 表計算ソフト「Excel」の基本的な操作（計算処理、関数機能、グラフ作成）ができるようになり、会計報告書の作成や園児台帳の作成など保育者として必要なスキルを学ぶ。また、プレゼンテーションソフト「Power Point」を活用し、幼児教育に活かせる教材を作成する。さらに、保育現場における個人情報の取り扱いや情報モラルについて講義、演習を通して事例をもとに学んでいく。 尚、授業で課せられた成果物は、Google Crassroomを用いて提出する。							
教科書	『保育者のためのパソコン講座—Windows 10/8.1/7 Office2010/2013/2016対応版』 阿部正平・阿部和子・二宮祐子（萌文書林） 価格（本体2,000円＋税）						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	しっかり出席し、授業中の課題をしっかりとこなしていきましょう。そしてパソコン等を活用してさまざまなことが出来るようになりましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	Google Classroomを使用し、課題提出をしてもらいます。そして、Google Classroomを使用し、フィードバックします。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業中に取り組んだ課題をGoogle Classroomを使って提出する				
	授業内試験	40	授業中にコンピュータを使った実技試験を行う				
	定期試験						
	レポート	30	学期末に小レポートを作成する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	hayashi_yasuko@nike.eonet.ne.jp（林泰）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション ワードの復習とエクセルの説明	林	講義とパソコンを用いた演習	パソコンの基本的な操作方法を復習する	30
2 /	エクセルの基本操作(1)簡単な計算	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
3 /	エクセルの基本操作(2)ワークシートの書式設定	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
4 /	エクセルの基本操作(3)データベース機能	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
5 /	エクセルの基本操作(4)グラフの作成と編集	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
6 /	エクセルの基本操作(5)関数による計算	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
7 /	エクセルの応用 ワードへの活用	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
8 /	エクセルの実技試験	林	パソコンを用いた実技試験	講義で学んだことを振り返り総復習する	30
9 /	情報モラルと個人情報の管理	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
10 /	パワーポイントの基本操作(1)スライドの作成	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
11 /	パワーポイントの基本操作(2)画像の挿入・アニメーションの設定	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
12 /	電子紙芝居の作成(計画)	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
13 /	電子紙芝居の作成(コンテンツの作成)	林	講義、パソコンを用いた演習、アクティブ・ラーニング	講義で学んだことを復習する	30
14 /	電子紙芝居の作成(編集と発表準備)	林	講義とアクティブ・ラーニング	講義で学んだことを復習する	30
15 /	課題発表・相互評価	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
算 数	久米 央也(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
Elementary Mathematics							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・小学校学習指導要領に示されている「算数科」のねらい、学習内容を理解する。 ・小学校における「算数科」の指導方法を知ること、幼児教育と小学校教育の学び方を比較し「共通点」と「相違点」を考察することができる。 ・幼児教育における数学的思考の芽生えを生み出す環境について調べることができる。							
<b>授業の内容</b> 幼稚園教育要領には「数・量・図形の関心、感覚」を育成することが明記されている。幼児期に「数・量・図形の関心、感覚」を育てるための環境構成や援助について学んでいく。小学校における算数科の授業の実際を知ること、幼児教育と小学校教育の「共通点」と「相違点」を学び、保育の「学び」の本質について理解を深める。また、算数的活動の事例を学び、算数が好きになる遊びや教材を実際に作っていく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	幼稚園教育要領の領域「環境」では、数・量・図形への興味や関心、感覚を養うことが明記されています。幼児期にどのような算数的活動を経験すればよいのか、そのためにどんな遊びや教材などを用意すればいいのかについて実際に教材を作ったり遊んだりして学んでいきます。また小学校算数科では、どんなことをどんな風に学んでいくのかを知ること、幼児期にすべきことを考えていきます。成績評価の授業態度では、積極的にディスカッションに参加したり、発表したりする姿から評価していきます。算数科に興味を持ち、考えることを楽しむ姿勢を持つことが大切です。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題については、解説を加えた後、回収しコメントをつけて返却します。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	積極的に授業に参加しているかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験	50	授業で学んだことを理解しているかを評価する				
	レポート	20	授業の終わりに出す課題に丁寧に取り組んでいるかを評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前に連絡をください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP2)【知識・理解】幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 幼児教育にとって「算数」を学ぶことの意義 について	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
2 /	小学校学習指導要領を読み解く(ねらい、領域、 学習内容、配列) 幼稚園教育要領にある算数を知る	久米	講義と演習	小学校学習指導要領・幼稚園 教育要領を読む・講義のまとめ	90
3 /	数と計算領域1 1対1対応、数の概念(記 号としての数) ドットカードの作成	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 ドットカード・数字カードの 作成	90
4 /	数と計算領域2 数の合成・分解 十進位置取り数法の誕生、数絵本制作	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 数絵本を完成する	90
5 /	数と計算領域3 大きな数の表し方 すごろくの制作	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 すごろくを完成する	90
6 /	数と計算領域4 加法・減法 手遊び歌の中にある算数	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
7 /	数と計算領域5 かけ算 幼児期のかけ算場面	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
8 /	数と計算領域まとめ 絵本の制作(かけ算・加法・減法)	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 かけ算・たし算絵本を完成す る	90
9 /	測定領域(1) 長さ、面積、体積の直接比較、任意単位、普 遍単位による比較	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
10 /	測定領域(2) 日常生活にある時間と時刻 時計絵本の制作	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 時計絵本を完成する	90
11 /	図形領域 三角形、四角形、正方形、長方形、直角三角 形、はこの形 幼児期の形とのかかわり	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 かたち絵本を完成する	90
12 /	変化と関係領域 伴って変わる二つの数量の関係 数学的思考の芽生えについて (幼児教育の中の算数)	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
13 /	データの活用領域 表とグラフ 数学的思考の芽生えについて 幼児期の遊びの中の算数について調査・研究	久米	講義と演習	調査したことをまとめる	90
14 /	数学的思考の芽生えについて 幼児期の遊びの中の算数について調査・研究 のまとめ	久米	講義と演習	調査したことをまとめる	90
15 /	数学的思考の芽生えについて 調査・研究したことのまとめ、振り返り	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>教育の方法及び技術</b>	李 霞(専 任)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
Technical Methods of Teaching							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・ 幼児教育・保育の特徴を知る。 ・ 幼児教育・保育に関する理論と実践の方法を習得する。 ・ 子どもに寄り添い、自らの実践について反省する態度を養う。 ・ これからの幼児教育・保育のあり方について理解を深める。 ・ コンピューターやタブレット等の情報機器を使い、幼児の興味を引き出す教材づくりを行う。							
<b>授業の内容</b> 平成29年に『幼稚園教育要領』や『保育所保育指針』が新たに改訂された。今回の改訂により、幼児教育の重要性が再確認され、幼児の「生きる力の基礎」の育成を目指して、とりわけ家庭・地域と連携し、幼児の発達や学びの連続性を確保しながら、家庭・地域と連携し、意図的・計画的に保育環境を整えることのできる保育者の育成が求められるようになった。このような資質を持つ保育者の育成を目指して、本授業では、発達と教育に関する理論と方法を中心に検討を行い、特に幼児理解に基づいた具体的な保育場面における保育者の援助のあり方について、事例を中心に議論していく。 なお、コンピューターやタブレットの使用が幼児教育段階にも普及しつつある現状から、これらの情報機器を用いて幼児の興味を引き出す教材開発のできる保育者の育成も視野に、授業では積極的にコンピューターやタブレット等の情報機器を活用する。 講義（視聴覚教材を含む）を中心に、個人ワークやグループワークも取り入れる。							
教科書	なし						
参考書	新しい保育・幼児教育方法（広岡義之編、ミネルヴァ書房） 保育・幼児教育方法（小田 豊・中坪史典編、建帛社） 幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省） 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府）ほか						
担当者からのメッセージ	講義内容について、常に「自分はどう思うか」「自分ならどうするか」を考えながら受講すること。 毎回授業の終わりにその時間に学んだことや考えたことをポートフォリオにミニレポートという形でまとめて授業を終了する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、授業を受けた感想を一枚ポートフォリオに書いてもらう。回収したポートフォリオや復習用ワークシートの添削を行い、次の授業時に学生に返却する。授業内容に対する学生たちの理解を深めるために、学生の中でよくできた感想や模範解答を授業開始時にスライドにて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	ポートフォリオの記入内容や予習・復習用のワークシートを評価の対象である				
	授業内試験						
	定期試験	40	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	李研究室 月・火・水曜日 12時15分～12時50分						
担当教員E-mail	k-lee@sumire.ac.jp (李)						
教員相互授業参観	第7回～第10回公開する（1週間前に連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 現代の子ども事情と幼児教育の基本	李	講義及び演習 パソコンを使ってPPT資料の作成方法の指導も行う	予習 予習用ワークシートを配り、 次回の授業内容について調べ 学習を行ってもらう	60
2 /	諸外国における幼児教育の方法(中国、韓国、 ベトナム)	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
3 /	諸外国における幼児教育の方法(シンガポ ール、マレーシア)	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
4 /	諸外国における幼児教育の方法(フランス、 イギリス、アメリカ)	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
5 /	諸外国における幼児教育の方法(フィンラン ド、ドイツ)	李	チーム活動を踏まえたまと め	復習 第2～5回の授業内容の定着を図 るために、復習用ワークシートを 配り、各自に完成してもらう	60
6 /	保育方法の本質について考える	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答	復習 授業内容についての理解を深める ために、復習用ワークシートを配 り、各自に完成してもらう	60
7 /	保育形態	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答	復習 次回の授業のはじめに、本授業内 容に関する小テストを実施するの で、復習するよう指示する	60
8 /	幼児理解と保育者の援助 ・幼児理解とは？ ・幼児理解のプロセス ・幼児理解の手立て ・幼児理解の更新	李	講義及び質疑応答	復習 幼児理解と保育者の援助について 理解を深めるために復習用ワーク シートを配り、完成してもらう	60
9 /	幼児の遊びと発達	李	講義及び演習	予習 本授業で紹介する内容に関する 事前学習ワークシートを配り、 完成してもらう	40
10 /	幼児の遊びの発展と保育者の援助	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答	復習 次回の授業のはじめに、本授業内 容に関する小テストを実施するの で、復習するよう指示する	40
11 /	人との関わりを持つ力を育てるためにⅠ 協 同する経験と保育者の援助	李	講義及びグループワーク	復習 復習用ワークシートを配り、 完成させたうえ、次回の授業 のはじめに提出してもらう	60
12 /	人との関わりを持つ力を育てるためにⅡ 幼 児同士のトラブルと保育者の援助	李	講義及びグループワーク	復習 授業内容に対する理解の定着 を図り、授業内容に関連する 課題を配り、完成してもらう	60
13 /	連続性を踏まえた保育と保育者の援助	李	講義及びグループワーク	予習及び復習 予習用ワークシートや復習用 ワークシートを配り、完成し てもらう	60
14 /	幼児教育の教材開発Ⅰ ・幼児教育現場に生きる教材開発のアイディ ア	外部講師	講義及び演習	復習 授業内容に対する理解の定着 を図り、復習用ワークシ ートを配り、完成してもらう	40
15 /	幼児教育の教材開発Ⅱ ・教材開発の実践	李	グループワーク	予習 グループごとでオリジナルな幼児 教育教材の開発を行い、その成果 の発表に向けて作業しておく	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育・教育課程論</b>	李 霞(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Childcare, curriculum theory							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程・保育課程の歴史の変遷を把握する。</li> <li>・教育課程・保育課程の編成をめぐる現状を知る。</li> <li>・幼稚園・保育園・保育者が抱える今日的な課題を把握する。</li> <li>・教育課程・保育課程の編成の基本的原理と基礎的技法を学習し、運用する力を身につける。</li> </ul> <b>授業の内容</b> <p>教育保育課程論は、教育・保育の目的や目標を達成するための組織的な教育・保育計画について論究する科目である。教育・保育計画は日々の教育・保育活動を展開するための依拠であり、その編成においては、教育・保育実践を展開していく上での指針となる方向性（目標）、内容、方法、評価についての理解が求められる。</p> <p>本授業では、教育課程・保育課程の歴史の変遷や、教育課程・保育課程をめぐる現状とともに、幼稚園・保育園・保育者が抱える今日的な課題を把握し、教育課程の編成に関わる基本的な知識・技能を習得し、それらを運用する力を身につけることを目指す。</p> <p>講義（視聴覚教材を含む）を中心に、個人ワークやグループワークも取り入れる。</p>							
教科書	『コンパクト版保育者養成シリーズ教育・保育課程論』 高橋弥生・大沢 裕（一藝社） 価格（本体2,000円＋税）						
参考書	保育とカリキュラム（ひかりのくに出版社）ほか 幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省） 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府）						
担当者からのメッセージ	グループワークも多く取り入れているため、積極的な参加が不可欠である。 講義内容について、常に「自分はどう思うか」「自分ならどうするか」を考えながら受講すること。 毎回授業の終わりにその時間に学んだことや考えたことをポートフォリオにまとめて授業を終了する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、授業を受けた感想を一枚ポートフォリオに書いてもらう。回収したポートフォリオや復習用ワークシートの添削を行い、次の授業時に学生に返却する。授業内容に対する学生たちの理解を深めるために、学生の中でよくできた感想や模範解答を授業開始時にスライドにて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	ポートフォリオの記入内容や予習・復習用のワークシートを評価の対象である				
	授業内試験						
	定期試験	40	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	李研究室 月・火・水曜日 12時15分～12時50分						
担当教員E-mail	k-lee@sumire.ac.jp (李)						
教員相互授業参観	第10回～第13回公開（2週間前にご連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション：教育・保育課程とは	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第1章を読み、予習用ワークシートを完成してもらう	60
2 /	教育課程・保育課程の歴史	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配り、完成してもらう	40
3 /	近年の教育課程・保育課程の動向	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第2章を読んでおくよう指示する	60
4 /	教育・保育における指導計画	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第3章を読んでおくよう指示する	40
5 /	指導計画作成の基本	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 次回の授業時に、第1～5回の授業内容に関する小テストを行うため、復習するよう指示する	90
6 /	計画に必要な子ども理解	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第5章を読んでおくよう指示する	60
7 /	幼稚園における教育課程と指導計画 （「カリキュラム・マネジメント」の内容を含む）	外部講師	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第6章を読んでおくよう指示する	60
8 /	保育所における保育課程と指導計画 （「カリキュラム・マネジメント」の内容を含む）	外部講師	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第7章を読んでおくよう指示する	60
9 /	認定子ども園における教育・保育課程と指導計画 （「カリキュラム・マネジメント」の内容を含む）	外部講師	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	次回の授業時に、第6～9回の授業内容に関する小テストを行うため、復習するよう指示する	90
10 /	指導計画作成の注意事項Ⅰ： 「ねらい」をどう定めるか	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配り、完成してもらう	40
11 /	指導計画作成の注意事項Ⅱ： 「内容」をどう立てるか	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配り、完成してもらう	40
12 /	指導計画作成の注意事項Ⅲ： 「環境と援助・配慮」をどう工夫するか	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配り、完成してもらう	40
13 /	指導計画作成の注意事項Ⅳ： 「反省・評価」をどう考えるべきか	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	復習 次回の授業時に、第10～13回の授業内容に関する小テストを行うため、復習するよう指示する	90
14 /	小学校へのつながり・行事を生かす保育のための計画 （「カリキュラム・マネジメント」の内容を含む）	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第11・12章を読んでおくよう指示する	90
15 /	保育の質を高める計画と評価 （「カリキュラム・マネジメント」の内容を含む）	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第15章を読んでおくよう指示する	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育者論</b>	永久 欣也(専 任)	2年次	前期	2	講義	必修	○
							実務経験
Introduction to Teacher Education							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・保育者・保育職の存在意義や職業的特性および専門性について理解することができる。 ・保育に関する諸課題を認識し、課題解決に向けて論理的に自らの考えを言語化することができる。 ・保育者・保育職の本質を捉え、求められる役割や資質能力を理解することで具体的ななかかわりの土台を構築する。 ・保育所およびその他の児童福祉施設、幼稚園、幼保連携型認定こども園等におけるチーム組織・チーム学校運営としての対応および必要性を理解する。							
<b>授業の内容</b> 幼稚園(kinder garten)を創設したフレーベルは、保育者を「園丁」(Gartner)のような存在だと考えた。保育者とは、幼児一人ひとりが自己の可能性や個性を生き生きと発揮できるよう、植物でいうところの陽の光や水、土や養分を整える存在だからである。授業では、個人ワークとグループディスカッションを通して、保育・学校教育を中心とする今日の社会的課題への理解を多角的に深めていく。その際、歴史・思想・制度も手がかりのひとつとする。現代社会において求められる保育者・保育職の専門性や意義・役割・キャリア形成について考える。また、対人援助職である保育職において、保育所およびその他児童福祉施設、幼稚園、認定こども園等が果たすチーム組織・チーム学校運営としての対応および必要性を理解する。							
教科書	『最新保育講座2 保育者論』 汐見稔幸・大豆生田啓友編 (ミネルヴァ書房) 価格(本体2,200円+税)						
参考書	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領ほか授業にて随時紹介						
担当者からのメッセージ	授業時における積極的な質問はおおいに歓迎。また、新聞やニュースなどの「保育者」に関する時事的な事柄にも関心を深めてほしい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出課題は内容を確認し、不十分な点やさらに内容が豊かになるための記述方法などを授業において全体に説明するとともに個別にも対応する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業への積極的な取り組みの姿勢				
	授業内試験						
	定期試験	50	授業理解の確認				
	レポート						
	その他	30	提出課題の有無や内容				
自由記載							
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等での連絡があれば他の時間への調整は可						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP8)【思考・判断・表現】 子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 「保育者になるということ」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
2 /	子どもを取り巻く環境の変化	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
3 /	保育・幼児教育の特性	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
4 /	保育者の専門性 1 「幼児理解」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
5 /	保育者の専門性 2 「社会理解」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
6 /	保育者の専門性 3 「多文化共生の保育」	永久	講義 課題を提出	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
7 /	子どもの「人権」について考える	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
8 /	「見えやすい」専門性と「見えにくい」専門性について	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
9 /	中間まとめ	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
10 /	保護者や家庭と共に歩む	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
11 /	保育者の成長と同僚関係	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
12 /	保育者の専門性への再考察	永久	講義 課題を提出	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
13 /	保育者と地域社会	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
14 /	省察的保育者について	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
15 /	総括 「保育者とは」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>総合表現Ⅱ</b>	松井 典子(専 任) 高橋 仁美(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Method of Integrated Expression II							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
<b>授業の到達目標</b> ・保育内容表現、保育内容表現、総合表現Ⅰで習得した「表現」について学びを深め、総合舞台芸術である「子どものオペレッタ」の制作、発表に取り組む。 ・制作に向けて主体的に取り組み、作品や発表にまとめるとともに保育実践のあり方について学ぶ。							
<b>授業の内容</b> 国際バカロレア (IB) 認定校のプライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) において幼児音楽教育の実務経験を持つ教員による演習授業である。情報リソースを活用し、授業を行う。 表現の指導法、総合表現Ⅰの学修を踏まえ、領域「表現」に関して保育内容の研究を深めていく。保育者になるための豊かな表現力と創造力を身につけるとともに幼児の表現についての理解も深めていく。総合舞台芸術であるオペレッタをグループで協働して制作することを目的とする。グループ活動においては、脚本作り、音楽作り、ダンス、舞台芸術などの制作過程を協働で創造し、舞台上で演じることに喜びを感じ、人前での表現活動に慣れることを目的とする。各自が選択した課題にグループで取り組み、発表に向けて作品としてまとめていく。その過程は保育現場において子どものさまざまな発表の場を指導するときの基礎となる経験である。							
教科書	なし						
参考書	各分野の担当者がそれぞれの授業の中で提示する						
担当者からのメッセージ	「表現」を通じた自己実現や創る喜びが体験できるように意欲的に活動に取り組んでいただきたい。 総合的な表現活動はチームプレイにあるので、コミュニケーション能力を高めながら協働的な学びができるようにすること。 各回の授業計画の詳細は、グループ討議時に決定する。そのため、授業計画や活動内容に関して主体的に討議し、取り組んでいただきたい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	制作の過程を毎回記録し、授業最終日に提出すること。 質問に対する回答やフィードバックを行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業の取り組み度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	10	各回の授業を振り返りシートに記録及び提出				
	その他	50	発表までの制作過程と最終発表での評価				
	自由記載						
オフィスアワー	松井研究室 火曜日 12時15分～13時 その他随時受付 高橋 授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	13回、14回の発表を公開する						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP2)【知識・理解】幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション グループ分けについて	松井 高橋	講義とグループ討議	総合表現Ⅰ・領域指導法(表現) の振り返りをしておく	90
2 /	発表作品のテーマの選定 グループ毎の制作計画1	松井 高橋	グループ討議 グループで計画案を作成	制作計画をまとめ、次回の制 作に向け準備する	90
3 /	グループ毎の制作計画2	松井 高橋	グループ討議 グループで計画案を作成	制作計画をまとめ、次回の制 作に向け準備する	90
4 /	発表作品の練習1	松井 高橋	グループ討議 グループ練習	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習 記録の綴り	90
5 /	発表作品の練習2	松井 高橋	グループ討議 グループ練習	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習 記録の綴り	90
6 /	発表作品の練習3	松井 高橋	グループ討議 グループ練習	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習 記録の綴り	90
7 /	発表作品の練習4	松井 高橋	グループ討議 グループ練習	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習 記録の綴り	90
8 /	発表作品の練習5	松井 高橋	グループ討議 グループ練習	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習 記録の綴り	90
9 /	発表作品の練習6	松井 高橋	グループ討議 グループ練習	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習 記録の綴り	90
10 /	発表作品の練習7 舞台リハーサル	松井 高橋	グループ練習 グループ討議 (舞台リハーサルの振り返り)	グループ練習の振り返りと練 習 次週の準備と練習 記録の綴り	90
11 /	発表作品の練習8 舞台リハーサル(録画)	松井 高橋	グループ練習 グループ討議 (舞台リハーサルの振り返り)	グループ練習の振り返りと練 習	90
12 /	発表作品の練習9 最終リハーサル(録画)	松井 高橋	グループ練習 グループ討議 (舞台リハーサルの振り返り)	グループ練習の振り返りと練 習	90
13 /	発表	松井 高橋	グループ発表	グループ練習の振り返り	90
14 /	発表	松井 高橋	グループ発表	グループ練習の振り返り	90
15 /	まとめ 発表の振り返り レポート提出	松井 高橋	グループ討議	記録の綴りと学習のまとめ レポートの作成	120
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>領域指導法(人間関係)</b>	林 幸範(専 任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Instruction Method of area (Human Relations)							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・幼稚園教育要領・保育所指針などに示された領域「人間関係」のねらい及び内容について述べるができる。 ・ねらいや及びないようについて、その背景となる専門領域と関連させて理解できる。 ・幼児の発達に即して、具体的な指導場面を想定した保育を構想し実践する方法（指導案など）を述べ、実施することができる。							
<b>授業の内容</b> 本講義は、領域「人間関係」の観点やねらい及び内容を学ぶために、基礎的な知識のみではなく、教育・保育現場での事例検討なども実施する。具体的には、幼児が（１）幼稚園・保育所等での生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わうことができ、（２）身近な人と親しみ、かわりを深め、愛情や信頼感などをもつことができ、（３）社会生活における望ましい習慣や態度を身に付けることができるように、コミュニケーションを含めた人間関係の基礎的な知識の修得と援助・指導の具体的な方法などについて学ぶ。さらに、幼児を中心とした人間関係の広がりや子育ての今日的意義、小学校との連携等についても学んでいく。なお、本講義では、グループワークの授業を中心に実施するので、積極的な参加を重視する。							
教科書	『『生活事例から始める 保育内容人間関係』 徳安敦・阪上節子編著（青鞥社） 価格（本体2,000円＋税）						
参考書	保育所指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園保育教育要領						
担当者からのメッセージ	本授業は、アクティブ・ラーニングの手法で実施するので、学生の積極的な参加を重視する。授業の詳細は、第1回目に説明をする。評価は、課題として毎回提出する「テーマシート」及び授業内で実施する発表会などで総合的に判断する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	試験は実施しないが、毎回課題を「テーマシート」として実施し、次週に返却する。なお、このテーマシートを15回終了後に1冊の冊子として提出し、後日返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	発表会の評価（60%）「テーマシート」の評価（40%）				
	自由記載						
オフィスアワー	林研究室 月～水曜日 12時10分～13時 木曜日 12時40分～13時20分 事前に連絡ください						
担当教員E-mail	yhayasi@sumire.ac.jp（林）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	イントロダクション -授業の進め方及び『人間関係』をなぜ勉強するの？-	林	講義とグループ討議	教科書を読む 講義内容をまとめる	60
2 /	「人間関係」 幼児の援助・指導でどのような点を重視しますか？	林	講義とグループ討議	教科書を読む 講義内容をまとめる	60
3 /	3歳未満児の発達と人間関係の育ち、どのような点を重視しますか？	林	講義とグループ討議	教科書を読む 講義内容をまとめる	60
4 /	3歳以上児の発達と人間関係の育ち、どのような点を重視しますか？	林	講義とグループ討議	教科書を読む 講義内容をまとめる	60
5 /	グループワーク1 -「やさしさ」を育てるには？-	林	グループ討議と発表	教科書を読む 講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
6 /	グループワーク2 -「自立心」を育てるには？-	林	グループ討議と発表	教科書を読む 講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
7 /	グループワーク3 -「協同性」を育てるには？-	林	グループ討議と発表	教科書を読む 講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
8 /	グループワーク4 -「感謝の気持ち」を育てるには？-	林	グループ討議と発表	教科書を読む 講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
9 /	グループワーク5 -「道徳性・規範意識の芽生え」を育てるには？-	林	グループ討議と発表	教科書を読む 講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
10 /	グループワーク6 -園で気になる子、どう関わりますか？-	林	グループ討議と発表	教科書を読む 講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
11 /	グループワーク7 -こどもにとっての『あそび』とは？-	林	グループ討議と発表	教科書を読む 講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
12 /	グループワーク8 -幼児の援助・指導でどのような点を重視しますか？指導案の作成-	林	グループで指導案作成	教科書を読む 指導案を完成させる	60
13 /	グループワーク9 -指導案を実際にしてみよう：模擬活動の準備-	林	グループで教材作成	模擬授業に向けて教材を完成させる	90
14 /	グループワーク10 -指導案を実際にしてみよう：模擬活動の実施-	林	模擬授業	模擬授業の反省をまとめる・評価表を確認する	90
15 /	まとめ -幼稚園教諭・保育者と係わる人たち-	林	グループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>乳児保育Ⅱ (①③)</b>	内藤 幸枝(非常勤) 森 孝子(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Theory of Baby Care Ⅱ							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b> ・3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの方針について理解する。 ・養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 ・乳児保育における配慮の実践について、具体的に理解する。 ・上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。							
<b>授業の内容</b> 乳児保育に携わり、現在も現役である担当教員により、リアルタイムでの保育の実際を学ぶ。 乳児保育Ⅰで学んだ基本をさらに深めるとともに、実際の子どもの姿から発育・発達を踏まえた生活と遊びについて学ぶ。 保育所保育指針に基づいた保育のねらい・内容・環境・援助・配慮を、実際に姿を通して理解し、計画の大切さを学ぶ。 就学前までの保育を見通して、乳児保育の重要性を再認識すると共に、子どもと保育士、保護者と保育士、保育現場の職員間などの連携の大切さを知り、子どもの育ちを中心とした最善の利益がもたらされる保育とは何かを学ぶ。							
教科書	『シードブック 乳児保育Ⅰ・Ⅱ - 科学的観察力と優しい心 - 』 古橋紗人子 中谷奈津子 (建帛社) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	月刊「保育とカリキュラム」(ひかりのくに)						
担当者からのメッセージ	自主的に予習をおこない授業に臨む姿勢が必要である。授業中のグループ討議や課題に対しても積極的に取り組む姿勢を重視する。 また、疑問点を調べたり、ディスカッションすることで学びを深めたことや、授業内容、考察の記入内容について確認し、平常点として評価する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	必要に応じて添削したり、授業中に解説等を行い、適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	授業内容のまとめやグループ討議の参加度、ノート提出、課題提出等積極的な授業参加				
	授業内試験	40	まとめ授業時に乳児保育Ⅱの授業内容全般についての理解度確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載	ノート提出や必要に応じてのレポート提出を課す。最終授業で振り返りのテストをおこなう。						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	乳児の発育・発達を踏まえた生活の援助の実際 食事・食育	森	講義演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
2 /	乳児の発育・発達を踏まえた生活の援助の実際 排泄・着脱・まとめ	森	講義演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
3 /	乳児の発育・発達を踏まえた生活の援助の実際 生活リズム	森	講義演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
4 /	まとめ	森	講義演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
5 /	子育て支援 子育て支援の必要性	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、授業内容を まとめ、予習学習をする	90
6 /	子育て支援の姿勢と保育所の特性	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
7 /	乳児保育における今後の課題と展望	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
8 /	まとめ	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する 乳児保育Ⅱを通してのまとめ をする	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>乳児保育Ⅱ (②④)</b>	内藤 幸枝(非常勤) 森 孝子(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Theory of Baby Care Ⅱ							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b> ・3歳未満児の発育発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 ・養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 ・乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。 ・上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。							
<b>授業の内容</b> 乳児保育に携わり、現在も現役である担当教員により、リアルタイムでの保育の実際を学ぶ。 乳児保育Ⅰで学んだ基本をさらに深めるとともに、実際の子どもの姿から発育・発達を踏まえた生活と遊びについて学ぶ。 保育所保育指針に基づいた保育のねらい・内容・環境・援助・配慮を、実際に姿を通して理解し、計画の大切さを学ぶ。 就学前までの保育を見通して、乳児保育の重要性を再認識すると共に、子どもと保育士、保護者と保育士、保育現場の職員間などの連携の大切さを知り、子どもの育ちを中心とした最善の利益がもたらされる保育とは何かを学ぶ。							
教科書	『シードブック 乳児保育Ⅰ・Ⅱ - 科学的観察力と優しい心 - 』 古橋紗人子 中谷奈津子 (建帛社) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	月刊「保育とカリキュラム」(ひかりのくに)						
担当者からのメッセージ	自主的に予習をおこない授業に臨む姿勢が必要である。授業中のグループ討議や課題に対しても積極的に取り組む姿勢を重視する。 また、疑問点を調べたり、ディスカッションすることで学びを深めたことや、授業内容、考察の記入内容について確認し、平常点として評価する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	必要に応じて添削したり、授業中に解説等を行い、適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	授業内容のまとめやグループ討議の参加度、ノート提出、課題提出等積極的な授業参加				
	授業内試験	40	まとめ授業時に乳児保育Ⅱの授業内容全般についての理解度確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載	ノート提出や必要に応じてのレポート提出を課す。最終授業で振り返りのテストをおこなう。						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	子育て支援 子育て支援の必要性	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、授業内容を まとめる	90
2 /	子育て支援の姿勢と保育所の特性	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
3 /	乳児保育における今後の課題と展望	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
4 /	まとめ	内藤	講義 グループ討議 まとめ	テキストを読み、予習学習を する	90
5 /	乳児の発育・発達を踏まえた生活の援助の実際 食事・食育	森	講義演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
6 /	乳児の発育・発達を踏まえた生活の援助の実際 排泄・着脱・清潔	森	講義演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
7 /	乳児の発育・発達を踏まえた生活の援助の実際 生活リズム	森	講義演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
8 /	まとめ	森	講義演習 まとめ	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする 乳児保育Ⅱを通してのまとめ をする	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>特別支援教育 (幼教)</b>	太田 容次(非常勤)	2年次	後期	1	講義	選択	○
							実務経験
							○
Special Needs education							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別の支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解する。</li> <li>・特別の支援を必要とする子どもの教育課程及び支援の方法を理解する。</li> <li>・障害はないが特別の教育的ニーズのある子どもの学習上又は生活上の困難とその対応を理解する。</li> <li>・将来教員や保育者として求められる社会人基礎力を、講義を聴くだけでなく、演習などを通して主体的に向上させる。</li> </ul> <b>授業の内容</b> <p>特別支援学校(知・肢・病)で勤務経験を持つ教員が担当する。</p> <p>幼稚園や保育園、認定こども園等に、発達障害や知的障害をはじめとする障害や、障害はないが特別の教育的ニーズがある特別な支援が必要な幼児(以下、子どもと記す)が在籍している。教員や保育士は、子ども一人一人が実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、学習上または生活上の困難を理解することが必要である。また、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関等と連携しながら組織的に指導・支援していくことも求められる。この科目では、専門職として将来働くために必要な特別支援教育に関する最低限の知識や支援方法の基礎・基本を理解し、実際の場面で生かすことを目標とする。</p>							
教科書	『教員と教員になりたい人のための特別支援教育のテキスト—気付き、工夫して、つなげる。(教育ジャーナル選書)』 小林倫代, 藤井 茂樹, 廣瀬 由美子, 星 祐子 (学研プラス) 価格(本体1,980円+税)						
参考書	特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編(幼稚園・小学部・中学部)/文部科学省/開隆堂出版/2018/9784304042294 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚園・小学部・中学部)/文部科学省/開隆堂出版/2018/9784304042317						
担当者からのメッセージ	卒業後、必要な基礎的な知識・技能を身につけるだけでなく、専門職として求められる社会人基礎力の考え方を理解し、将来発揮できることを期待している。そのためにレポートのみで評価するのではなく、講義で示すルーブリックの項目を基に、総合的に評価する。ルーブリックの評価基準の例として、「講義に出席するだけで、特別支援教育について、自ら考え学ぼうとする態度が見られない。」などを示している。そのため担当者が、出席しているだけで、寝ている、スマホ等を操作している、その他学ぼうとする姿勢が見られないと判断した場合は、出席していても欠席と判断する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	講義を中心に、演習も必要に応じて行う。授業後に学修したことを振り返るために、Google Classroomで振り返りレポートを提出する。その中で共有すべき情報や課題、疑問については、次の授業で全体にフィードバックを行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	Google Classroomでの毎回の振り返りレポート(到達目標1~4に対応)				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	期末の個別レポート(到達目標1~3に対応)				
	その他	20	発表や授業参画等をルーブリックから総合的に評価(到達目標4に対応)				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける また、電子メールでの質問等は随時受け付ける						
担当教員E-mail	otahiro@notredame.ac.jp(太田)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	特別支援教育に関する制度の理念や仕組み (インクルーシブ教育システム含む)の理解	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
2 /	発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別 の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の心 身の発達、心理的特性及び学習の過程の理解	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
3 /	視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・ 病弱等を含む様々な障害のある幼児、児童及 び生徒の学習上又は生活上の困難について基 礎的な知識を身に付ける	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
4 /	発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別 の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対 する支援の方法について例示することができる	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
5 /	「通級による指導」及び「自立活動」の教育 課程上の位置付けと内容の理解	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
6 /	個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作 成する意義と方法の理解	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
7 /	特別支援教育コーディネーター、関係機関・ 家庭と連携しながら支援体制を構築すること の必要性の理解	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
8 /	母国語や貧困の問題等により特別の教育的 ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又 は生活上の困難や組織的な対応の必要性の理 解	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもの食と栄養(①③)	原 知子(専任) 小谷 清子(非常勤)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
Food and Nutrition for Child-care							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b> ・知識・理解：食べること・食事に関する基礎知識を修得する。子どもの食生活の現状と課題を把握し、食育の重要性を理解する。 ・思考・判断：子どもの食生活において想定されるさまざまな問題を科学的な根拠に基づいて考え、対応する能力を身につける。 ・関心・意欲：心が食える、という観点から食生活の文化的側面にも関心を持ち、食卓のあり方を考えることができる。 ・態度：子どもの食生活に保育者としてかかわることの責任の大きさに対して自覚を持つ。 ・技能・表現：地域や家庭と連携して、こどもの健全な食生活の設計に積極的にかかわることができる。							
<b>授業の内容</b> 幼少期の食生活は、生涯にわたる健康の基礎となる。食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学び、こどもの成長および発達と食生活の関連について理解を深める。 食育の基本とその実際について、地域社会や文化とのかかわりの中で理解する。 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について、また、特別な配慮を必要とする子どもの食と栄養について理解する。 子どもたちに「食事は楽しいものである」と感じられるように環境を考え、食育事業や保護者への支援ができるようになるための知識理解や演習を行う。							
教科書	『最新子どもの食と栄養－食生活の基礎を築くために』 飯塚・瀬尾・曾根・濱谷 (学建書院) 価格(本体2,400円+税)						
参考書	新版 子どもの食生活－栄養・食育・保育－ 上田玲子 (ななみ書房) 子どもの食と栄養演習 小川雄次 (建帛社) 子どもの食と栄養 堤ちはる・土井正子 (明文書林) 子どもの食と栄養 岡崎光子 (光生館)						
担当者からのメッセージ	調理師・栄養士に任せてしまうのではなく、子どもの食事に楽しんで積極的にかかわれるようになってください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	練習問題により授業内容を確認する。 提出レポートについて、興味深い内容を講義内にて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	5	授業への積極的な参加を評価				
	授業内試験						
	定期試験	80	筆記試験により授業内容の理解度を評価				
	レポート	15	授業内の課題レポートを評価				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	原研究室 火曜日 12時20分～12時50分(メールにて質問内容・来室時間相談を連絡してください) (小谷) 授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	t-hara@sumire.ac.jp (原)						
教員相互授業参観	第2回～第13回を公開します(参観予定を1週間前までにあらかじめご連絡願います)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP5)【技能】保護者との適切な関わりを築き、相談援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	子どもの健康における栄養・食事・食生活の意義、 保護者支援と家庭における食事の役割	原	講義・演習 アクティブ・ラーニング	教科書の関連項目第1章を読んでおく	45
2 /	子どもの発達・発育と食行動、 妊娠期	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Bを読んでおく	60
3 /	乳汁栄養・調乳法	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Cを読んでおく	45
4 /	離乳・離乳食、 献立作成と調理の基本	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Cを読んでおく	45
5 /	幼児期の食生活	原	講義・演習 アクティブ・ラーニング	教科書の関連項目第3章Dを読んでおく課題作成	60
6 /	幼児期の間食 食文化と行事食	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Dを読んでおく 課題作成	60
7 /	食育の基本と内容	原	講義・演習	教科書の関連項目第4章を読んでおく 課題作成	60
8 /	子どもの発育・発達の特徴、 栄養状態の評価	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第3章Aを読んでおく	45
9 /	栄養に関する基本知識(三大栄養素)、 消化吸収	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章B・C を読んでおく	45
10 /	栄養に関する基本知識(ビタミン・ミネラル・ 水)	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章Bを読んでおく	45
11 /	食事摂取基準・食生活指針・食事バランスガ イドについて	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章A・D を読んでおく バランスガイドをマスターす る	60
12 /	児童福祉施設における食事と栄養、 保育所給食、 衛生管理	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第5章を読んでおく	45
13 /	疾病および体調不良の子どもへの対応	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第6章を読んでおく	45
14 /	食物アレルギーについて考える	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第6章を読んでおく	45
15 /	まとめ	原 小谷	講義・演習	プリント・ノートの総まとめ をする	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもの食と栄養(②④)	原 知子(専任) 小谷 清子(非常勤)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
Food and Nutrition for Child-care							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b> ・知識・理解：食べること・食事に関する基礎知識を修得する。子どもの食生活の現状と課題を把握し、食育の重要性を理解する。 ・思考・判断：子どもの食生活において想定されるさまざまな問題を科学的な根拠に基づいて考え、対応する能力を身につける。 ・関心・意欲：心が食える、という観点から食生活の文化的側面にも関心を持ち、食卓のあり方を考えることができる。 ・態度：子どもの食生活に保育者としてかかわることの責任の大きさに対して自覚を持つ。 ・技能・表現：地域や家庭と連携して、こどもの健全な食生活の設計に積極的にかかわることができる。							
<b>授業の内容</b> 幼少期の食生活は、生涯にわたる健康の基礎となる。食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学び、こどもの成長および発達と食生活の関連について理解を深める。 食育の基本とその実際について、地域社会や文化とのかかわりの中で理解する。 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について、また、特別な配慮を必要とする子どもの食と栄養について理解する。 子どもたちに「食事は楽しいものである」と感じられるように環境を考え、食育事業や保護者への支援ができるようになるための知識理解や演習を行う。							
教科書	『最新子どもの食と栄養－食生活の基礎を築くために』 飯塚・瀬尾・曽根・濱谷（学建書院） 価格（本体2,400円＋税）						
参考書	新版 子どもの食生活－栄養・食育・保育－ 上田玲子（ななみ書房） 子どもの食と栄養演習 小川雄次（建帛社） 子どもの食と栄養 堤ちはる・土井正子（明文書林） 子どもの食と栄養 岡崎光子（光生館）						
担当者からのメッセージ	調理師・栄養士に任せてしまうのではなく、子どもの食事に楽しんで積極的にかかわれるようになってください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	練習問題により授業内容の理解を確認する。 提出レポートについて、興味深い内容を講義内にて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	5	授業への積極的な参加を評価				
	授業内試験						
	定期試験	80	筆記試験により授業内容の理解度を評価				
	レポート	15	授業内の課題レポートを評価				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	原研究室 火曜日 12時20分～12時50分（また、メールにて質問内容・来室時間相談を連絡してください） （小谷）授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	t-hara@sumire.ac.jp（原）						
教員相互授業参観	第2回～第13回を公開します（参観予定を1週間前までにあらかじめご連絡願います）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP5)【技能】保護者との適切な関わりを築き、相談援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	子どもの発育・発達の特徴、 栄養状態の評価	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第3章Aを 読んでおく	45
2 /	栄養に関する基本知識(三大栄養素)、 消化吸収	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章B・C を読んでおく	45
3 /	栄養に関する基本知識(ビタミン・ミネラル・ 水)	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章Bを 読んでおく	45
4 /	食事摂取基準・食生活指針・食事バランスガ イドについて	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章A・D を読んでおく 食事バランスガイドをマス ターする	60
5 /	児童福祉施設における食事と栄養、 保育所給食、 衛生管理	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第5章を読 んでおく	45
6 /	疾病及び体調不良の子どもへの対応	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第6章を読 んでおく	45
7 /	食物アレルギーについて考える	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第6章を読 んでおく	45
8 /	子どもの健康における栄養・食事・食生活の 意義、 保護者支援と家庭における食事の役割	原	講義・演習 アクティブ・ラーニング	教科書の関連項目第1章を読 んでおく	45
9 /	妊娠期、 子どもの発達・発育と食行動	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Bを 読んでおく	45
10 /	乳汁栄養・調乳法	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Cを 読んでおく	45
11 /	離乳・離乳食、 献立作成と調理の基本	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Cを 読んでおく	45
12 /	幼児期の食生活	原	講義・演習 アクティブ・ラーニング	教科書の関連項目第3章Dを 読んでおく、課題作成	60
13 /	幼児期の間食、 食文化と行事食	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Dを 読んでおく	60
14 /	食育の基本と内容	原	講義・演習	教科書の関連項目第4章を読 んでおく	60
15 /	まとめ	小谷 原	講義・演習	プリント・ノートの総まとめ をする	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>子どもの健康と安全</b>	飯盛 順子(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Health and security of child							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b> ・小児の発達や健康に関する具体的な知識を得る。 ・小児の主な疾患についての知識をもち、対応や予防についての理解を深める。 ・さまざまな慢性疾患についての知識を深め、保育の中で、適切な対応を行うために必要なことを知る。 ・各年齢で発生しやすい事故の予防、保健指導、生活習慣の指導、保健管理、環境衛生についても理解する。 ・年間の保健計画が作成できるようになる。							
<b>授業の内容</b> 保育所や保育行政において、保健衛生面での専門職（保健師・看護師）として、子どもの健康管理や保育保健活動の実際を経験した担当教員により、1年次に学んだ「子どもの保健」の基礎知識を基に、保育所保育指針第3章「健康及び安全」を踏え、感染症や事故災害から子どもを守るために保育者として必要な知識と具体的な方法を学ぶ。							
教科書	演習『図解子どもの保健Ⅱ 第2版』 今井七重編（株式会社みらい） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	『今日から役立つ保育園の保健の仕事』 東社協保育士会保健部会編集 定価（本体2,300円＋税） 赤ちゃんとママ社発行						
担当者からのメッセージ	教科書を基本に授業を進めます。予習復習に努め、ノートへの記録も必要です。ノートの提出を求める場合もあります。授業で配付する資料やプリント等は大切にファイルしてください。授業中の態度も評価の対象とします。授業中の私語は慎み、携帯電話等不要なものは机上に置かないようにしてください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	次回の授業で、課題の中の特徴的な見解や誤解についてコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	私語、教科書忘れ等ないように注意する				
	授業内試験						
	定期試験	70	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート	10	課題を与え実践能力や意欲を確認する				
	その他	10	その時の必要に応じた課題を考える				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP5)【技能】保護者との適切な関わりを築き、相談援助ができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育保健について 保健計画の作成と活用 子どもの健康状態の観察 1.観察の方法について	飯盛	講義 (実践例を含む) 課題1 を与える	講義内容をまとめ、保健計画 を作成する 各自のバイタルサインを記録 する	90
2 /	子どもの健康状態の観察 2.身体計測の技術と評価 養護の技術 1.おんぶの仕方、抱き方、調乳と与え方	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	養護の技術 2.身体の清潔、沐浴、衣服の着脱、おむつ交換 3.子どもの病気の特徴と異常に気づいたときの対応 (吐物や下痢の後始末など)	飯盛	講義 DVD視聴	講義内容およびDVD視聴内容 をまとめる	90
4 /	養護の技術 4.冷湿療法、冷湿布、薬の飲ませ方、腹部マッサージ、 浣腸、食事の与え方 感染症の予防と感染症発生時の対応 感染予防と手洗いの重要性	飯盛	講義 DVD視聴	講義内容およびDVD視聴内容 をまとめる	90
5 /	特別な配慮を要する子どもへの適切な対応 ・慢性疾患、アレルギー性疾患、乳児、障がいの ある子ども 基本的な生活習慣の自立と健康教育 ・子どもの保健と環境、排せつ習慣、歯磨き指導	飯盛	講義と実演(歯みがき指導) をみる	講義内容や歯磨き指導をまと める	90
6 /	ケガや事故防止と応急処置や安全教育 事故発生時の対応 1.心肺蘇生法、気道内異物除去法	飯盛	講義 DVD視聴	講義内容およびDVD視聴内容 をまとめる	90
7 /	事故発生時の対応 2.三角巾、包帯の使い方、患者の運び方 集団保育における健康管理・健康診断 保護者への啓発 スポーツ振興センター 職員の健康管理	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
8 /	復習とまとめ	飯盛	講義	これまでの講義内容の振り返 り、復習しておく	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子ども理解と援助の心理学	別 示	2年次	後期	1	演習	選択	実務経験
Psychology of child understanding and care							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
別 示							
教科書							
参考書							
担当者からのメッセージ							
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック							
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー							
担当教員E-mail							
教員相互授業参観							
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /					
2 /					
3 /					
4 /					
5 /					
6 /					
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>児童・青年期の心理学</b>	林 幸範(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Child and Adolescent Psychology							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
<b>授業の到達目標</b> ・ 児童期、青年期の発達に関する知識を身につける。 ・ 児童期、青年期における諸問題の背景について考える力を身につける。 ・ 児童期、青年期と他の時期を関連させながら、人間の発達について考える力を身につける。							
<b>授業の内容</b> これまで幼稚園、小・中・高校、大学でカウンセラーとして従事してきました。そこで得られた経験等を活かし、具体的で分かりやすい授業を展開していこうと考えています。 児童期、青年期の発達について概観しながら、この時期において特徴的な諸問題について考察を深めていく。最終的には、児童期、青年期と他の時期を関連させながら、人間の発達について考える力が身につくように授業を展開していく。							
教科書	なし						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	本講義では、教科書を使用しないが、毎回『資料ノート』を配付する。 本講義は、アクティブ・ラーニングの手法で実施するので、学生の積極的な参加を重視する。授業の詳細は、第1回目に説明をする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回の課題を「テーマシート」として実施し、次週に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	発表の評価(60%) 「テーマシート」の評価(40%)				
自由記載							
オフィスアワー	林研究室 月～水曜日 12時10分～13時 木曜日 12時40分～13時20分 事前に連絡ください						
担当教員E-mail	y-hayasi@sumire.ac.jp (林)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発達と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 【私の児童期、青年期】について考える	林	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
2 /	児童期とは？	林	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
3 /	児童期：小1プロブレム	林	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
4 /	児童期：仲間関係	林	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
5 /	児童期：道徳的判断	林	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
6 /	児童期：感情・表情の理解	林	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
7 /	児童期：自己肯定感	林	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
8 /	青年期とは？	林	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
9 /	青年期：いじめ	林	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
10 /	青年期：反抗期	林	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
11 /	青年期：自我同一性	林	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
12 /	青年期：適応	林	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
13 /	青年期：アタッチメント	林	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
14 /	青年期：自傷行為と自殺	林	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
15 /	まとめ	林	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>幼児理解と教育相談</b>	別 示	2年次	後期	2	講義	選択	実務経験
Infant understanding and education consultation							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の選択、准学校心理士資格の選択						
別 示							
教科書							
参考書							
担当者からのメッセージ							
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック							
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー							
担当教員E-mail							
教員相互授業参観							
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /					
2 /					
3 /					
4 /					
5 /					
6 /					
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>子ども家庭支援論</b>	松木 宏史(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	
							実務経験
							○
Child home support theory							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b> ・子育て世帯の生活問題を理解できる。 ・各世帯の状況に合わせた支援のあり方を考えることができる。 ・「社会福祉」「子ども家庭福祉」での学びを踏まえ、保育の専門性を生かした支援のあり方を考えることができる。							
<b>授業の内容</b> 社会福祉施設での実務経験を持つ教員による講義である。 幼児教育保育の現場では、しばしば子育てに関して悩みを抱える保護者に出会う。そうしたとき、支援の方法や制度の枠組みを知っておくことで余裕を持った対応ができる。加えて、子育て世帯の生活実態を知ることにより、寄り添った支援が可能となる。現場に出ればすぐに直面する問題として、理解しやすい授業を目指す。							
教科書	『子ども家庭支援論』 児童育成協会 監修 (中央法規) 価格 (本体2,000円+税)						
参考書	授業の中で紹介する						
担当者からのメッセージ	福祉系科目の総まとめとなる。これまで学んだ知識や保育実習での様々な経験を思い起こし、真剣に授業と向き合ってもらいたい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	ほぼ毎回何らかの提出課題を科す。課題は教員がチェックしたのち学生へ返却する。返却された提出物はなくさないように保管しておくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業内でおこなう小レポート				
	授業内試験						
	定期試験	70	子ども家庭支援に対する基本的知識を問う				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	松木研究室 木曜日 12時40分～13時10分 事前にメールで予約をすること						
担当教員E-mail	h-matuki@sumire.ac.jp (松木)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP5)【技能】保護者との適切な関わりを築き、相談援助ができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 子ども家庭支援とは	松木	講義	配付資料を読み返す	30
2 /	子ども家庭支援の必要性・意義	松木	講義	テキストを読み返す	60
3 /	子ども家庭支援の目的と機能	松木	講義	テキストを読み返す	60
4 /	子育て支援施策・次世代育成支援施策	松木	講義	テキストを読み返す	60
5 /	子育て世帯を支える福祉施策	松木	講義	テキストを読み返す	60
6 /	保育の専門性を活かした子ども家庭支援	松木	講義	テキストを読み返す	60
7 /	「子どもの育ち」の共有	松木	講義	テキストを読み返す	60
8 /	保護者・地域の子育て実践力	松木	講義	テキストを読み返す	60
9 /	保育士に求められる基本的姿勢	松木	講義	テキストを読み返す	60
10 /	世帯の状況に合わせた支援	松木	講義	テキストを読み返す	60
11 /	自治体・関係機関との連携、地域資源の活用	松木	講義	テキストを読み返す	60
12 /	子ども家庭支援の内容・対象	松木	講義	テキストを読み返す	60
13 /	保育所等を利用する子育て世帯への支援	松木	講義	テキストを読み返す	60
14 /	地域の子育て世帯への支援	松木	講義	テキストを読み返す	60
15 /	要保護児童とその家庭への支援 授業のまとめ	松木	講義	定期試験に向けた復習	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブ・ラーニング
子ども家庭支援の心理学	林 幸範(専 任)	2年次	前期	2	講義	必修	○
							実務経験
							○
Psychology of child home support							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b> ・生涯発達に関する心理学の基礎的な知識、初期経験の重要性、発達課題等についての習得・理解できる。 ・家族・家庭の意義や機能、親子関係や家族関係等について発達の観点から習得し、子どもとその家庭について包括的に言及できる。 ・子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題や子どもの精神保健とその課題について習得・理解ができ、その問題点や改善点についての支援などについて言及できる。							
<b>授業の内容</b> これまで、カウンセラーや子育て相談、特別支援教育の専門委員などを従事してきた経験を通して得た知見をもとにして講義を構成していく。現在、家庭を取りまく状況は、目まぐるしく変化をし、家庭に対する価値観も多様化し、そのためもあって問題や課題が山積している。さらに、子どものいる家庭では、子ども発達と共に家庭の機能などが大きく変化をしてきている。そこで、本講義では、1. 生涯発達(ライフステージ)、2. 家庭・家族、3. 子育て家庭の現状と課題、4. 子どもの精神衛生をキーワードとして、ライフステージごとに子どもや家庭の課題や問題点を中心に習得していく。なお、本講義では、グループワークの授業を中心に実施するので、積極的な参加を重視する。							
教科書	なし						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	本講義では、教科書を使用しないが、毎回『資料ノート』を配付する。本講義は、アクティブ・ラーニングの手法で実施するので、学生の積極的な参加を重視する。授業の詳細は、第1回目に説明をする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回の課題を「テーマシート」として実施し、次週に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	発表の評価(60%) 「テーマシート」の評価(40%)				
	自由記載						
オフィスアワー	林研究室 月～水曜日 12時10分～13時 木曜日 12時40分～13時20分 事前に連絡ください						
担当教員E-mail	y-hayasi@sumire.ac.jp (林)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP5)【技能】保護者との適切な関わりを築き、相談援助ができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	イントロダクション ー授業の進め方及び『子どもの家庭支援の心理』をなぜ勉強するのかー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
2 /	家族・家庭の基礎と理解 ー家族・家庭とはー	林	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
3 /	生涯発達とは ーライフステージとしての生涯発達ー	林	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
4 /	ライフステージからみた家族と子どもの精神保健1 ー胎教は必要か? : 胎児期の精神保健ー	林	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
5 /	ライフステージからみた家族と子どもの精神保健2 ー母乳バンク、どう思いますか? : 新生児期の精神保健ー	林	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
6 /	ライフステージからみた家族と子どもの精神保健3 ー3歳までは母親が家庭で育てるべき? : 乳児期の精神保健ー	林	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
7 /	ライフステージからみた家族と子どもの精神保健4 ーしつけ、乱れていると思いますか? : 幼児期の精神保健ー	林	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
8 /	ライフステージからみた家族と子どもの精神保健5 ーどうして学校へ行くの? : 児童期の精神保健ー	林	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
9 /	ライフステージからみた家族と子どもの精神保健6 ー学校、今どんなことが起こっているの? : 青年期の精神保健ー	林	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
10 /	ライフステージからみた家族と子どもの精神保健7 ー大人になるってどんなこと : 成人期の精神保健ー	林	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
11 /	ライフステージからみた家族と子どもの精神保健8 ー老人は、黄昏?まとも? : 老人期の精神保健ー	林	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
12 /	子どもの家庭での課題と精神保健 ー子どもの虐待どう思いますか?ー	林	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
13 /	子どもと学校での課題と精神保健 ー特別支援教育どう思いますか?ー	林	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
14 /	子どもと社会での課題と精神保健 ー子どもの貧困やDVなどどう思いますか?ー	林	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
15 /	まとめ ーこれからの家族・家庭はどこに行くー	林	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>子育て支援</b>	浜崎 由紀(専 任)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Child care support							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b> ・子育て支援の意義について理解する。 ・子育て支援の基本原則を理解する。 ・相談支援の内容や方法を理解する。 ・保育所や児童福祉施設における保護者支援の実際について理解する。							
<b>授業の内容</b> 保育士資格を有し、子育て支援での勤務経験のある教員が、その経験を活かして、指導をする。 保護者と信頼関係を気づくための適切な関わりについて理解し、保育者としての専門性を生かした支援について学びを深める。							
教科書	『子育て支援の環境づくり』 高山静子 (エイデル研究所) 価格(本体1,980円+税)						
参考書	授業内で紹介する						
担当者からのメッセージ	保育士資格必修の科目のため、欠席した場合は、授業内容相当の課題を課すので期限内に提出すること。受講態度については、積極的に発表、ディスカッションに参加すること。授業で学んだことをノートにまとめること。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出課題は内容を確認し、不十分な点は指摘して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験	60	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート	20	毎時授業後の振り返り小レポート、課題レポート				
	その他	10	ノート提出				
	自由記載						
オフィスアワー	浜崎研究室 木曜日 12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	y-hamasaki@sumire.ac.jp (浜崎)						
教員相互授業参観	公開する(事前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP5)【技能】保護者との適切な関わりを築き、相談援助ができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	子育て支援の基礎知識	浜崎	講義	講義内容をまとめる	90
2 /	保育所保育指針から保護者支援・子育て支援を読み解く	浜崎	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	親子関係を支える「一時預かり」	浜崎	講義	講義内容をまとめる	90
4 /	未就園の子どもが育つあそび素材と道具－012の子どものあそび	浜崎	講義・演習	講義・演習内容をまとめる	90
5 /	保育所・幼稚園・認定こども園で行う環境を通じた子育て支援	浜崎	講義・演習	講義・演習内容をまとめる	90
6 /	保護者との適切な関わり	浜崎	講義・演習	講義・演習内容をまとめる	90
7 /	保育者に必要なコミュニケーションスキル	浜崎	講義・演習	講義・演習内容をまとめる	90
8 /	子育て支援の現状と課題・授業の総括	浜崎	講義・演習	授業を振り返りまとめる	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>地域福祉</b>	岡本 芳也(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Community Social Work							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にあるさまざまな福祉問題について、その問題の現状や背景について理解する。</li> <li>・地域にあるさまざまな福祉問題に対して提供されている福祉サービスの内容について理解する。</li> <li>・地域における福祉問題の解決のための住民参加の意義について理解する。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>本講義では、地域社会の中に起こっているさまざまな福祉問題を取り上げながら、それらの問題の現状、実情がどのようなものであるのか、現代社会においてなぜそれらの問題が起こるのか、そして、その問題に対してどのような実践が行われ、どのような支援、サービスが提供されているのか、さらには問題の解決のために地域に住む住民がどのようなことをしていくことが求められているのか、といったことについて学び、考えていく。その中で地域における福祉問題というものが身近な、そして自分たち自身に関わりのある問題であることについて理解を図っていく。</p>							
教科書	『よくわかる地域福祉（最新版）』 上野谷加代子・松端克文・山縣文治編（ミネルヴァ書房） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	特になし 資料については、講義時間に必要に応じて配付する						
担当者からのメッセージ	地域福祉とは皆さん自身も暮らす地域社会の中で行われる実践であり、皆さん自身の身近なところにあるものです。まずは自分の身近な地域がどのような現状か、どんな問題があるか、どのような福祉活動があるのか関心を持ってみてください。成績評価の一環として、授業毎に簡単なまとめレポートを作成していただきます。講義内容の理解度を確認すると共に、感想、質問、疑問点などについても対応していきたいと思っておりますので、積極的に取り組んでください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	まとめレポートについては、必要に応じて翌週の授業にて注目される内容の感想、意見などについて取り上げコメントする。また、講義で学習した内容に関して寄せられた疑問、質問についても回答、説明などを行い、より深い理解ができるようにしたいと考える。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業まとめ、感想・質問のミニレポート提出				
	授業内試験						
	定期試験	60	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。</p> <p>(幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。</p> <p>(幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	社会福祉問題とは何かを理解する(社会問題の一つとしての社会福祉問題)	岡本	講義とレポート作成	授業ノートを見直すこと	240
2 /	社会福祉問題を解決する方法について理解する(公助、共助、自助についての理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
3 /	社会福祉問題の背景(現代の地域社会の状況や家族の置かれた状況についての理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
4 /	現代社会における地域福祉の重要性、意義について理解する(歴史的、政策的な側面からの変化、位置付けの理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
5 /	地域福祉の理念について理解する(ノーマライゼーション、脱施設化等についての理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
6 /	地域福祉の理念について理解する(コミュニティケア等についての理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
7 /	社会福祉協議会による地域福祉実践についての理解(社会資源の理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
8 /	地域社会における児童福祉問題の現状について(児童虐待、少子化などを中心に)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
9 /	地域における子育て支援サービス、地域組織化について(現状と課題についての理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
10 /	地域社会における障害者福祉問題の現状について(地域生活、就労状況などを中心に)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
11 /	障害者福祉問題を中心としたバリアフリーと社会参加の現状と課題(法制度と課題について)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
12 /	地域社会における高齢者福祉の現状について(現状と課題について)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
13 /	地域社会における貧困問題の現状について(現状と課題について)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
14 /	地域福祉における権利擁護の活動について(支援・制度内容と現状について)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
15 /	地域での生活を守る様々な実践について(様々な社会資源、サービスの理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>手話Ⅱ</b>	原田 直子(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
Sign Language II							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
<b>授業の到達目標</b> ・聴覚障がい者の基本的理解と、基本的技術を習得する。 ・聴覚障がいは見えない障がい。説明してもわかりにくいので、聴覚障がい者の様子が見られるDVDを見る、聴覚障がいに関する記事を知るなどして理解を深める。 ・聴覚障がい者のコミュニケーション手段（手話、指文字、身振り、指差し）を適切に選択して話せるようになる。 ・表情や手話の強弱、速さ、大きさも表せるようになる。							
<b>授業の内容</b> 聴覚障がい者は主として手話でコミュニケーションしているが、手話の他に身振り、指文字、数字、指差しなども使う。 このことを踏まえて、分かり易い表現を工夫して伝えることを目標に、日常会話に必要な手話単語を習得しながら、講師の手話を読み取ることができるように学習する。							
教科書	『今すぐはじめる手話テキスト「聴さんと学ぼう!」 一般財団法人全日本ろうあ「連盟」（全日本ろうあ連盟） 価格（本体900円+税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	手話を見ることば。声を出したりせず声に頼らないことを心がけたら早く上達できる。 手話で話す聴覚障がい者は聞こえない耳の代わりに目で視ているので、常に目で視ることを意識する。 授業中 声を出さずに視ることに集中して、聴覚障がい者と話すときは目で視る習慣を身につくようにしてほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題は 手話のスピーチ発表、学外授業の感想文、手話などを使った会話。 授業の到達目標に照らして、授業内容がどれだけ身についたかについて評価し、講評する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	15	受講態度により評価				
	授業内試験						
	定期試験	50	理解度確認のため実施				
	レポート	10	学外授業の感想文を評価				
	その他	25	うた、スピーチ（表現力、正確さ、リズム感） 会話				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	手話で話してみよう4 自己紹介	原田	実技	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」を見る	40
2 /	手話で話してみよう5 行きたい場所	原田	実技	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」	40
3 /	手話で話してみよう6 病気や怪我で困ったとき	原田	実技	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」	40
4 /	手話で話してみよう7 お天気 乗り物	原田	実技	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」	40
5 /	手話で話してみよう8 買い物	原田	実技	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」	40
6 /	手話で話してみよう9 台風がきたら、	原田	実技	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」	40
7 /	福祉制度	原田	講義・演習	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」	40
8 /	学外授業	原田	見学・体験	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」	40
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育実習指導Ⅱ (保育所) A</b>	浜崎 由紀(専任) 永久 欣也(専任) 三上 佳子(専任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Guidance with Child-care Practice Ⅱ (nursery school)							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・保育所実習Ⅱの意義・目的・実習生としての厳守すべき事項について理解を深め、明確な目的をもつ。 ・指導案に基づいた生活や遊びの実際を体験的に理解することができる。 ・演習を通して、子ども・保育への理解を深める。 ・直後指導を通して実習の振り返りや自己評価をふまえた課題が認識できている。							
<b>授業の内容</b> 幼稚園や保育所等での勤務経験を有する教員が、その経験を活かして、教材研究、指導案について講義する。 具体的な事例に基づきながらロールプレイやグループディスカッションを行い、観察の仕方やポイント、保育者のかかわりについて検討・考察する。指導案を作成し、指導案に基づいた子どもの遊びの実際について体験的に学ぶ。実践力を身につけるために各自指導案を作成する。保育所実習Ⅱにおいて講義や演習を通して保育所の機能や役割（保護者支援や倫理綱領）を理解する。直後指導でのグループディスカッションを通して実習を振り返り自己評価を行う。また自己評価を基に今後の課題を明確にする。							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針 認定こども園教育・保育要領						
担当者からのメッセージ	「保育実習において厳守すべきルール」や提出期限等を守れない者は不合格となることがある。保育実習Ⅰで経験したことを踏まえ、実際の子どもの姿を想定しながら教材研究、指導案の作成を行ってもらう。授業には積極的に参加すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は担当者が確認し、返却する。返却された提出物は、必ずまとめて保管しておくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	提出課題				
自由記載							
オフィスアワー	浜崎研究室 木曜日 12時40分～13時10分 事前にメール等で予約を取ること 永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等で連絡あれば時間の調整は可 三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 事前にメール等で連絡あれば時間の調整は可						
担当教員E-mail	y-hamasaki@sumire.ac.jp (浜崎) k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久) y-mikami@sumire.ac.jp (三上)						
教員相互授業参観	公開する（事前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育実習Ⅰを振り返る	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅰをグループワークで振り返る	授業内容を振り返り、要点を整理する 保育実習Ⅱに向けた学習課題を明らかにする	90
2 /	実習記録簿への記入について 一気づきと考察の書き方	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
3 /	全日実習指導案の書き方 一全日実習のポイントと事例から学ぶ	永久	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
4 /	子ども理解と保育者のかかわり	浜崎	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
5 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導1 「体をつかうあそび活動」	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
6 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導2 「技法を用いたあそび活動」	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
7 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導3 「音あそびの活動」	浜崎	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
8 /	観察記録について	三上 永久 浜崎	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
9 /	実習に関する事務手続き説明	浜崎 永久 三上	講義 事務連絡	授業内容を振り返り要点を整理する	90
10 /	模擬保育の実践1 体をつかうあそび	浜崎 三上 永久	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
11 /	模擬保育の実践2 造形あそび	浜崎 三上 永久	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
12 /	模擬保育の実践3 音あそび	浜崎 三上 永久	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
13 /	模擬保育の実践4 伝承あそび	浜崎 三上 永久	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
14 /	直前指導	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅱ直前指導 実習に関するルールの確認	配付資料を読み返し、実習へ向けた最終準備を整える	90
15 /	直後指導	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅱ直後指導 実習後の省察 実習記録の振り返り	授業内容を振り返り今後の課題をより明確にする	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育実習指導Ⅱ (保育所) B</b>	浜崎 由紀(専任) 永久 欣也(専任) 三上 佳子(専任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Guidance with Child-care Practice Ⅱ (nursery school)							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・保育所実習Ⅱの意義・目的・実習生としての厳守すべき事項について理解を深め、明確な目的をもつ。 ・指導案に基づいた生活や遊びの実際を体験的に理解することができる。 ・演習を通して、子ども・保育への理解を深める。 ・直後指導を通して実習の振り返りや自己評価をふまえた課題が認識できている。							
<b>授業の内容</b> 幼稚園や保育所等での勤務経験を有する教員が、その経験を活かして、教材研究、指導案について講義する。 具体的な事例に基づきながらロールプレイやグループディスカッションを行い、観察の仕方やポイント、保育者のかかわりについて検討・考察する。指導案を作成し、指導案に基づいた子どもの遊びの実際について体験的に学ぶ。実践力を身につけるために各自指導案を作成する。保育所実習Ⅱにおいて講義や演習を通して保育所の機能や役割（保護者支援や倫理綱領）を理解する。直後指導でのグループディスカッションを通して実習を振り返り自己評価を行う。また自己評価を基に今後の課題を明確にする。							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針 認定こども園教育・保育要領						
担当者からのメッセージ	「保育実習において厳守すべきルール」や提出期限等を守れない者は不合格となることがある。保育実習Ⅰで経験したことを踏まえ、実際の子どもの姿を想定しながら教材研究、指導案の作成を行ってもらう。授業には積極的に参加すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は担当者が確認し、返却する。返却された提出物は、必ずまとめて保管しておくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	提出課題				
自由記載							
オフィスアワー	浜崎研究室 木曜日 12時40分～13時10分 事前にメール等で予約を取ること 永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等で連絡あれば時間の調整は可 三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 事前にメール等で連絡あれば時間の調整は可						
担当教員E-mail	y-hamasaki@sumire.ac.jp (浜崎) k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久) y-mikami@sumire.ac.jp (三上)						
教員相互授業参観	公開します（事前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育実習Ⅰを振り返る	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅰをグループワークで振り返る	授業内容を振り返り、要点を整理する 保育実習Ⅱに向けた学習課題を明らかにする	90
2 /	子ども理解と保育者のかかわり	浜崎	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
3 /	実習記録簿への記入について -気づきと考察の書き方-	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
4 /	全日実習指導案の書き方 -全日実習のポイントと事例から学ぶ-	永久	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
5 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導3 「音あそびの活動」	浜崎	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
6 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導1 「体をつかうあそび活動」	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
7 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導2 「技法を用いたあそび活動」	永久	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
8 /	観察記録について	三上 永久 浜崎	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
9 /	実習に関する事務手続き説明	浜崎 永久 三上	講義 事務連絡	授業内容を振り返り要点を整理する	90
10 /	模擬保育の実践1 体をつかうあそび	浜崎 三上 永久	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
11 /	模擬保育の実践2 造形あそび	浜崎 三上 永久	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
12 /	模擬保育の実践3 音あそび	浜崎 三上 永久	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
13 /	模擬保育の実践4 伝承あそび	浜崎 三上 永久	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
14 /	直前指導	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅱ直前指導 実習に関するルールの確認	配付資料を読み返し、実習へ向けた最終準備を整える	90
15 /	直後指導	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅱ直後指導 実習後の省察 実習記録の振り返り	授業内容を振り返り今後の課題をより明確にする	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育実習指導Ⅱ (保育所) C</b>	浜崎 由紀(専任) 永久 欣也(専任) 三上 佳子(専任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Guidance with Child-care Practice Ⅱ (nursery school)							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・保育所実習Ⅱの意義・目的・実習生としての厳守すべき事項について理解を深め、明確な目的をもつ。 ・指導案に基づいた生活や遊びの実際を体験的に理解することができる。 ・演習を通して、子ども・保育への理解を深める。 ・直後指導を通して実習の振り返りや自己評価をふまえた課題が認識できている。							
<b>授業の内容</b> 幼稚園や保育所等での勤務経験を有する教員が、その経験を活かして、教材研究、指導案について講義する。 具体的な事例に基づきながらロールプレイやグループディスカッションを行い、観察の仕方やポイント、保育者のかかわりについて検討・考察する。指導案を作成し、指導案に基づいた子どもの遊びの実際について体験的に学ぶ。実践力を身につけるために各自指導案を作成する。保育所実習Ⅱにおいて講義や演習を通して保育所の機能や役割（保護者支援や倫理綱領）を理解する。直後指導でのグループディスカッションを通して実習を振り返り自己評価を行う。また自己評価を基に今後の課題を明確にする。							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針 認定こども園教育・保育要領						
担当者からのメッセージ	「保育実習において厳守すべきルール」や提出期限等を守れない者は不合格となることがある。保育実習Ⅰで経験したことを踏まえ、実際の子どもの姿を想定しながら教材研究、指導案の作成を行ってもらう。授業には積極的に参加すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は担当者が確認し、返却する。返却された提出物は、必ずまとめて保管しておくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	提出課題				
自由記載							
オフィスアワー	浜崎研究室 木曜日 12時40分～13時10分 事前にメール等で予約を取ること 永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等での連絡あれば時間の調整は可 三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 事前にメール等での連絡あれば時間の調整は可						
担当教員E-mail	y-hamasaki@sumire.ac.jp (浜崎) k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久) y-mikami@sumire.ac.jp (三上)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育実習Ⅰを振り返る	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅰをグループワークで振り返る	授業内容を振り返り、要点を整理する 保育実習Ⅱに向けた学習課題を明らかにする	60
2 /	全日実習指導案の書き方 ー全日実習のポイントと事例から学ぶー	永久	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
3 /	子ども理解と保育者のかかわり	浜崎	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
4 /	実習記録簿への記入について ー気づきと考察の書き方ー	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
5 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導2 「技法を用いたあそび活動」	永久	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
6 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導3 「音あそびの活動」	浜崎	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
7 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導1 「体をつかうあそび活動」	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
8 /	観察記録について	三上 永久 浜崎	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
9 /	実習に関する事務手続き説明	浜崎 永久 三上	講義 事務連絡	授業内容を振り返り要点を整理する	90
10 /	模擬保育の実践1 体をつかうあそび	浜崎 三上 永久	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
11 /	模擬保育の実践2 造形あそび	浜崎 三上 永久	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
12 /	模擬保育の実践3 音あそび	浜崎 三上 永久	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
13 /	模擬保育の実践4 伝承あそび	浜崎 三上 永久	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
14 /	直前指導	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅱ直前指導 実習に関するルールの確認	配付資料を読み返し、実習へ向けた最終準備を整える	90
15 /	直後指導	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅱ直後指導 実習後の省察 実習記録の振り返り	授業内容を振り返り今後の課題をより明確にする	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育所実習Ⅱ</b>	浜崎 由紀(専任) 永久 欣也(専任) 三上 佳子(専任)	2年次	前期集中	2	実習	選択	○
							実務経験
							○
Child-care Practice at Nursery School II							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・保育実習Ⅰの経験と既習の教科内容を踏まえて、保育所の業務内容を総合的に理解する。 ・観察・記録や子どもとの関わりを通して保育への理解を深める。 ・指導案を立てることができ、計画に基づいた保育を実践することができる。 ・保護者支援および職業倫理の基本を学ぶ。							
<b>授業の内容</b> 保育現場経験者（保育者）による実習内容の指導をする。 保育所実習Ⅱではこれまでの学びを踏まえ、保育所の役割や機能、保育士の職務（子どものかかわり、保育の実際）について理解を深める。子どもの姿や保育士の配慮等を的確にとらえた実習記録を書くことによって保育への理解を深める。特別な配慮を要する子どもへのかかわりについて実践的に学ぶ。指導案を作成し、計画に基づいた保育を実践する。保護者への支援や家庭との連携について具体的に知る。 参加実習：保育者の指導を受けながら子どもと積極的にかかわることを通して学ぶ。 責任実習：指導案を作成しそれに基づいた保育を行う。							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領						
担当者からのメッセージ	「保育実習指導Ⅰ」が不合格である者、「保育実習Ⅰにおいて厳守すべきルール」や実習に関する記録などの提出期限等を守れない者の実習は認めない。準備を整えて実習に備えること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	実習先と連絡を取り、巡回訪問で指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	実習記録（50%）、実習園の総合評価（50%）				
	自由記載						
オフィスアワー	浜崎研究室 月・火・金 12時15分～13時 永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 事前にメール等で予約を取ること						
担当教員E-mail	y-hamasaki@sumire.ac.jp（浜崎） k-nagahisa@sumire.ac.jp（永久） y-mikami@sumire.ac.jp（三上）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	実習期間：2回生の8月中10日間 1日8時間以上	浜崎 永久 三上	指定保育園での実習	実習期間中、実習記録をまとめる	600
2 /	実習先：学生本人が実習先の内諾を得、「保育実習Ⅱ実習報告書」を指定された日までに提出する	浜崎 永久 三上	実習の内容については、「保育実習指導Ⅱ（保育所）」において指導していく	実習期間中、実習記録をまとめ、ファイルを整理する	180
3 /					
4 /					
5 /					
6 /					
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育実習指導Ⅱ（施設）</b>	林 幸範(専 任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
	松木 宏史(専 任)						実務経験
Guidance with Child-care Practice Ⅱ (Social Welfare Institution)							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・社会福祉施設の役割・機能について学びを深める「施設実習Ⅱ」に向けた準備を行う。 ・実習における学びを実のあるものにするために、事前の準備として最低限必要な知識やものの見方、考え方の習得を目指す。							
<b>授業の内容</b> これまでに学んできた「保育」について総合的に振り返るとともに、実習先の理解・対象者の理解を進めていく。また、観察・記録・自己評価といった実習に必要なスキルや保育士の専門性・職業倫理についても具体的に学んでいく。 教員によるレクチャーにとどまらず、受講生相互の学びあいも重視したい。 なお、この科目は「施設実習Ⅱ」と連動している。							
教科書	『福祉施設実習ハンドブック（1年次に購入済み）』 岡本幹彦ほか（みらい） 価格（本体2,000円＋税） 『新選 社会福祉（1年次に購入済み）』 後藤卓郎ほか（みらい） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	参考書は授業の中で紹介する						
担当者からのメッセージ	施設実習Ⅱに向けて、「謙虚に現実から学ぶ」ことを目指して授業に臨んでほしい。 授業で配付したプリントはファイルして無くさないようにすること。 「実習において厳守すべきルール」に対する違反には厳しい態度で臨む。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	自己紹介シート、実習課題書については添削指導を行ったうえで清書に入ってもらおう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	提出課題(50%) 事前学習の成果・進捗 (50%)				
	自由記載						
オフィスアワー	林研究室 木曜日 12時40分～13時20分（事前にメール等で予約を取ること） 松木研究室 木曜日 12時40分～13時20分（事前にメール等で予約を取ること）						
担当教員E-mail	y-hayashi@sumire.ac.jp（林） h-matuki@sumire.ac.jp（松木）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】 自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	保育所・施設合同オリエンテーション	林 松木	講義	配付資料を読み返す	60
2 /	施設実習Ⅱオリエンテーション	林 松木	講義 実習指導スタートシート記入 記録用紙記入	配付資料を読み返す	60
3 /	施設実習Ⅰの振り返り(1)	林 松木	講義 個人ワークによる振り返り	配付資料を読み返す	60
4 /	施設実習Ⅰの振り返り(2)	林 松木	グループワークによる振り返り 記録用紙記入	演習シートを読み返す	60
5 /	事前学習のまとめ方について	林 松木	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	60
6 /	自己紹介シートを作成する	林 松木	個人ワークによる書類作成	次回までに自己紹介シートを完成させる	120
7 /	実習課題書を下書きする	林 松木	個人ワークによる書類作成	次回までに下書きを完成させる	180
8 /	実習課題書を清書する	林 松木	個人ワークによる書類作成	完成しなかった場合、次回までに課題書を完成させる	120
9 /	実習に関する事務手続き説明	林 松木	講義	配付資料を読み返す	60
10 /	ゲスト講義(1) 障がい者施設から	林 松木	講義 感想文記入	配付資料を読み返す	60
11 /	ゲスト講義(2) 児童福祉施設から	林 松木	講義 感想文記入	配付資料を読み返す	60
12 /	実習課題・計画発表会(1) 児童福祉施設	林 松木	グループワーク	配付資料を読み返す	60
13 /	実習課題・計画発表会(2) 障がい児・者施設	林 松木	グループワーク	配付資料を読み返す	60
14 /	直前指導	林 松木	講義 記録用紙記入	施設実習Ⅲに向けて自己学習の点検を行う	180
15 /	直後指導	林 松木	個人ワークによる振り返り グループワークによる実習 成果の交流	施設実習Ⅱを振り返り実習の成果をまとめる	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>施設実習Ⅱ</b>	林 幸範(専任) 松木 宏史(専任)	2年次	前期集中	2	実習	選択	○
							実務経験
							○
Practice at Social Welfare Institution Ⅱ							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・社会福祉施設や児童館の役割・機能や保育士・指導員・生活支援員の専門性について、より深く実践を通じて学ぶ。 ・施設養護に関わる保育士として、また様々な施設現場で働くことを目指す者として、科学的なものの見方・考え方に基づいた問題把握と支援技術を習得する。							
<b>授業の内容</b> 具体的には各実習施設により、実習プログラムは異なることがあるが、おおむね以下の内容を学習することになる。 ・個人差や生活問題の違いを把握したこども（対象者）理解 ・支援計画の立案と実施 ・家族とのコミュニケーション方法の実際 ・地域社会と施設とのかかわり ・保育士としての職業倫理 実習期間：8月中の10日間程度 実習先：本学指定の社会福祉施設							
教科書	『福祉施設実習ハンドブック（1年次に購入済み）』 岡本幹彦ほか（みらい） 価格（本体2,000円＋税） 『新選 社会福祉（1年次に購入済み）』 後藤卓郎ほか（みらい） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	実習では「謙虚に現実から学ぶ」ことを大切に、おおいに学んでください。 成績評価について：実習日程をすべてクリアした学生について、施設評価・記録・課題に対する取り組み状況を踏まえて総合的に評価を行う。「保育実習指導Ⅱ」が不合格あるいは「実習に関するルール」に著しく抵触する者、期日までに理由なく実習記録等の提出物を出せなかった者については、単位を認めないため重々注意すること。 配付資料を無くさないよう注意すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	事後指導の時間にフィードバックを行う。 また、日々の実習等へのコメントは必ず読んでおくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	実集簿並びに実習先からの評価				
自由記載							
オフィスアワー	林研究室 木曜日 12時40分～13時20分（事前にメール等で予約を取ること） 松木研究室 木曜日 12時40分～13時10分（事前にメールで連絡すること）						
担当教員E-mail	y-hayasi@sumire.ac.jp（林） h-matuki@sumire.ac.jp（松木）						
教員相互授業参観	福祉現場での配属実習のため非公開						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	10日間の実習プログラムは各施設により異なる	林 松木	配属実習	法で定められた実習時間	0
2 /					
3 /					
4 /					
5 /					
6 /					
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
教育実習（事前事後指導を含む）1	柚木たまみ(専任) 三上 佳子(専任) 久米 央也(専任)	2年次	前期集中	5	演習	選択	○
							実務経験
							○
Practice Teaching at Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・幼稚園の保育の流れを理解し、保育に参加する。 ・保育者の援助や役割および保育の内容について学ぶ。 ・子どもの姿に応じた指導計画の立案と実践を学ぶ。 ・実習に関して自分の課題設定を行い、取り組んでいく。							
<b>授業の内容</b> 幼稚園教育実習（以後、実習とする）を中心に据え、実習に行くための様々なトレーニング、準備等を行う。また実習後は、実習の振り返り作業を丁寧に行った上で、幼児教育保育の現場で働くための各自の課題設定を行う。また外部講師の講演による担当者の専門性に基づいた様々な講義を受講することにより、実習での学びを深め、幼稚園において実習を行う。							
教科書	『幼稚園教育実習』 玉置哲淳・島田ミチコ（建帛社） 価格（本体2,100円＋税） 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館（フレーベル館） 価格（本体190円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	教員3名による演習形式の授業であり、合同授業と分割授業がある。初回に配付する予定表で開講日と教室をチェックすること。ただ出席しているだけでは、成長はできない。目的意識をしっかりと持ち、主体的に学ぶこと。実習の直前指導、事後指導（各々2回）はスーツを着用し、髪の毛の色、爪の長さなど実習にふさわしい装いで受講すること。実習前は、実習園に訪問して現地オリエンテーションを受ける。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題提出後にはコメントをいれ適宜返却する。 実習先に連絡を取り、巡回訪問をして指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	普段の授業態度を評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	課題提出で評価				
	その他	50	実習園からの評価				
	自由記載						
オフィスアワー	柚木研究室 月・水・金曜日 12時15分～13時 久米研究室 火・水・金曜日 12時15分～13時 三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学生番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp（柚木） h-kume@sumire.ac.jp（久米） y-mikami@sumire.ac.jp（三上）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 教育実習の意義・目的・実習生としての心構えの説明	柚木 久米 三上	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構えを説明する	講義内容をまとめる	90
2 /	外部講師に学ぶ 「幼稚園教育実習に向けて」	柚木 久米 三上	講義 (幼稚園の現場の先生による)	講義内容をまとめる	90
3 /	実習に対する自分の課題を考える 「私の課題」の書き方(前期)	柚木 久米 三上	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
4 /	部分実習指導案の書き方	柚木	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
5 /	観察の仕方(前期) 子どもの遊びの場면을観察する 守秘義務について(前期)	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
6 /	実習記録の書き方(前期) 観察・記録・考察	三上	講義 演習	講義内容をまとめる	90
7 /	指導案の書き方 誓約書・実習に関するルールの確認 私の課題の確認	柚木 久米 三上	講義	連絡事項をまとめる	90
8 /	前期実習直前指導	柚木 久米 三上	(前期実習6月1日～6月12日)	連絡事項をまとめる	90
9 /	前期実習直後指導	柚木 久米 三上	前期実習を振り返り、自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
10 /	前期実習の振り返りから自分の課題を見つける 「私の課題」の書き方(後期)	柚木 久米 三上	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
11 /	責任実習指導案の書き方	柚木	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
12 /	観察の仕方(後期) 子どもの遊びの場面 守秘義務について(後期)	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
13 /	実習記録の書き方(後期) 観察・記録・考察	三上	講義 演習	講義内容をまとめる	90
14 /	後期実習直前指導	柚木 久米 三上	(後期実習9月2日～9月15日)	連絡事項をまとめる	90
15 /	後期実習直後指導	柚木 久米 三上	後期実習を振り返り 自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
教育実習（事前事後指導を含む）2	柚木たまみ(専任) 三上 佳子(専任) 久米 央也(専任)	2年次	前期集中	5	演習	選択	○
							実務経験
							○
Practice Teaching at Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・幼稚園の保育の流れを理解し、保育に参加する。 ・保育者の援助や役割および保育の内容について学ぶ。 ・子どもの姿に応じた指導計画の立案と実践を学ぶ。 ・実習に関して自分の課題設定を行い、取り組んでいく。							
<b>授業の内容</b> 幼稚園教育実習（以後、実習とする）を中心に据え、実習に行くための様々なトレーニング、準備等を行う。また実習後は、実習の振り返り作業を丁寧に行った上で、幼児教育保育の現場で働くための各自の課題設定を行う。また外部講師の講演による担当者の専門性に基づいた様々な講義を受講することにより、実習での学びを深めていく。							
教科書	『幼稚園教育実習』 玉置哲淳・島田ミチコ（建帛社） 価格（本体2,100円＋税） 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館（フレーベル館） 価格（本体190円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	教員3名による演習形式の授業であり、合同授業と分割授業がある。初回に配付する予定表で開講日と教室をチェックすること。ただ出席しているだけでは、成長はできない。目的意識をしっかりと持ち、主体的に学ぶこと。実習の直前指導、事後指導（各々2回）はスーツを着用し、髪の毛の色、爪の長さなど実習にふさわしい装いで受講すること。実習前は、実習園に訪問して現地オリエンテーションを受ける。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題提出後にはコメントをいれ適宜返却する。 実習先に連絡を取り、巡回訪問をして指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	普段の授業態度を評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	提出課題で評価				
	その他	50	実習園からの評価				
	自由記載						
オフィスアワー	柚木研究室 月・水・金曜日 12時15分～13時 久米研究室 火・水・金曜日 12時15分～13時 三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学生番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp（柚木） h-kume@sumire.ac.jp（久米） y-mikami@sumire.ac.jp（三上）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 教育実習の意義・目的・実習生としての心構えの説明	柚木 久米 三上	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構えを説明する	講義内容をまとめる	90
2 /	外部講師に学ぶ 「幼稚園教育実習に向けて」	柚木 久米 三上	講義 (幼稚園の現場の先生による)	講義内容をまとめる	90
3 /	実習に対する自分の課題を考える 「私の課題」の書き方(前期)	柚木 久米 三上	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
4 /	観察の仕方(前期) 子どもの遊びの場面 守秘義務について(前期)	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
5 /	実習記録の書き方(前期) 観察・記録・考察	三上	講義 演習	講義内容をまとめる	90
6 /	部分実習指導案の書き方	柚木	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
7 /	指導案の書き方 誓約書・実習に関するルールの確認 私の課題の確認	柚木 久米 三上	講義	連絡事項をまとめる	90
8 /	前期実習直前指導	柚木 久米 三上	(前期実習6月1日～6月12日)	連絡事項をまとめる	90
9 /	前期実習直後指導	柚木 久米 三上	前期実習を振り返り、自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
10 /	前期実習の振り返りから自分の課題を見つける 「私の課題」の書き方(後期)	柚木 久米 三上	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
11 /	観察の仕方(後期) 子どもの遊びの場面 守秘義務について(後期)	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
12 /	実習記録の書き方(後期) 観察・記録・考察	三上	講義 演習	講義内容をまとめる	90
13 /	責任実習指導案の書き方	柚木	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
14 /	後期実習直前指導	柚木 久米 三上	(後期実習9月2日～9月15日)	連絡事項をまとめる	90
15 /	後期実習直後指導	柚木 久米 三上	後期実習を振り返り自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
教育実習（事前事後指導を含む）3	柚木たまみ(専任) 三上 佳子(専任) 久米 央也(専任)	2年次	前期集中	5	演習	選択	○
							実務経験
							○
Practice Teaching at Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・幼稚園の保育の流れを理解し、保育に参加する。 ・保育者の援助や役割および保育の内容について学ぶ。 ・子どもの姿に応じた指導計画の立案と実践を学ぶ。 ・実習に関して自分の課題設定を行い、取り組んでいく。							
<b>授業の内容</b> 幼稚園教育実習（以後、実習とする）を中心に据え、実習に行くための様々なトレーニング、準備等を行う。また実習後は、実習の振り返り作業を丁寧に行った上で、幼児教育保育の現場で働くための各自の課題設定を行う。また外部講師の講演による担当者の専門性に基づいた様々な講義を受講することにより、実習での学びを深めていく。							
教科書	『幼稚園教育実習』 玉置哲淳・島田ミチコ（建帛社） 価格（本体2,100円＋税） 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館（フレーベル館） 価格（本体190円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	教員3名による演習形式の授業であり、合同授業と分割授業がある。初回に配付する予定表で開講日と教室をチェックすること。ただ出席しているだけでは、成長はできない。目的意識をきっちりと持ち、主体的に学ぶこと。実習の直前指導、事後指導（各々2回）はスーツを着用し、髪の毛の色、爪の長さなど実習にふさわしい装いで受講すること。実習前は、実習園に訪問して現地オリエンテーションを受ける。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題提出後にはコメントをいれ適宜返却する。 実習先に連絡を取り、巡回訪問をして指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	普段の授業態度を評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	提出課題で評価				
	その他	50	実習園からの評価				
	自由記載						
オフィスアワー	柚木研究室 月・水・金曜日 12時15分～13時 久米研究室 火・水・金曜日 12時15分～13時 三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学生番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp（柚木） h-kume@sumire.ac.jp（久米） y-mikami@sumire.ac.jp（三上）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 教育実習の意義・目的・実習生としての心構えの説明	柚木 久米 三上	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構えを説明する	講義内容をまとめる	90
2 /	外部講師に学ぶ 「幼稚園教育実習に向けて」	柚木 久米 三上	講義 (幼稚園の現場の先生による)	講義内容をまとめる	90
3 /	実習に対する自分の課題を考える 「私の課題」の書き方(前期)	柚木 久米 三上	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
4 /	実習記録の書き方(前期) 観察・記録・考察	三上	講義 演習	講義内容をまとめる	90
5 /	部分実習指導案の書き方	柚木	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
6 /	観察の仕方(前期) 子どもの遊びの場面 守秘義務について(前期)	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
7 /	指導案の書き方 誓約書・実習に関するルールの確認 私の課題の確認	柚木 久米 三上	講義	連絡事項をまとめる	90
8 /	前期実習直前指導	柚木 久米 三上	(前期実習前期実習6月1日～6月12日)	連絡事項をまとめる	90
9 /	前期実習直後指導	柚木 久米 三上	前期実習を振り返り、自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
10 /	前期実習の振り返りから自分の課題を見つける 「私の課題」の書き方(後期)	柚木 久米 三上	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
11 /	実習記録の書き方(後期) 観察・記録・考察	三上	講義 演習	講義内容をまとめる	90
12 /	責任実習指導案の書き方	柚木	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
13 /	観察の仕方(後期) 子どもの遊びの場面 守秘義務について(後期)	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
14 /	後期実習直前指導	柚木 久米 三上	(後期実習9月2日～9月15日)	連絡事項をまとめる	90
15 /	後期実習直後指導	柚木 久米 三上	後期実習を振り返り自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育・教職実践演習(幼稚園) (①1③1)	林 幸範(専任)・永久 欣也(専任) 李 霞(専任)・三上 佳子(専任)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
							○
Seminar on Practice Nursery and Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・教職課程の科目や保育の専門科目を振り返り、教育実習・保育実習の経験を通して、これまでの学びを集大成していく。 ・教育実習・保育実習から自己の課題を見つけて、自ら将来保育者として保育の現場に立つ自覚を確認し、さらなる知識と実践力を身につけていく。 ・模擬授業を通して乳児とのかかわり方や援助の方法、幼児とのかかわり方や指導の方法などを再確認し、教育実習・保育実習での課題を学び直していく。 ・教職履修カルテの意義を理解し、活用することができる。							
<b>授業の内容</b> 本演習は、実務経験のある教員などが担当する。 教職履修カルテを活用して、これまでに取得した単位の基礎知識を再確認し、不十分な分野の見直しをするとともに、既習知識と実習の経験から得た教育・保育の技術や指導法を活かせる演習をしていく。 授業の構成は、1. 教育の制度・方法 2. 子ども理解 3. 模擬保育を通しての乳児の保育実践と方法論 4. 模擬保育を通しての幼児の保育実践と方法論の4部構成とする。 教育の制度・方法の分野では、実際の現場の内容を把握した上で保育者としての使命感や責任感及び教育的愛をはじめ、基本的な方法論を踏まえた検討を行う。子ども理解では、乳幼児の成長・発達をふまえながら現場における多様な子どもに寄り添う保育・教育について学ぶ。模擬保育では近隣の提携している保育園で乳児対象の実践を行う。幼児対象の模擬保育は、短大附属幼稚園で実践を行う予定である。教育実習の経験から学んだ実践の方法を活かし、ここでは造形表現に活動を絞って、環境構成の方法、指導の流れや幼児の発達を踏まえた教材研究そして、ワークショップ形式での子どもとのかかわりの中で、一人ひとりに寄り添って指導していく方法について学んでいく。 なお、本授業では、教職履修カルテを活用するので、必ず毎回確認をすること。							
教科書	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 (フレーベル館) 価格(本体190円+税) 『保育所保育指針解説』 厚生労働省 (フレーベル館) 価格(本体190円+税) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 (フレーベル館) 価格(本体249円+税)						
参考書	月刊保育とカリキュラム 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針(原本)』 発行人浅香俊二(株式会社チャイルド本社)						
担当者からのメッセージ	この科目の受講資格は、教育実習または保育実習の単位を取得した者である。実習の経験を活かして、もう一度専門科目を振り返り、幼児教育・保育に関する学びをさらに深めていただきたい。また、保育者としての自分をイメージしながら積極的に授業に取り組み実践につながる学びをしていくことが望まれる。 模擬保育は附属幼稚園や近隣の保育所で行う予定である。事前の連絡や掲示を確認しておくこと。 教科書以外の資料は、各担当教員から授業時に配付される。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	模擬授業に関しては、それぞれの実践をビデオに撮り、総括の授業時に振り返りと考察を行う。 「教育の制度・方法」及び「子ども理解」に関しては、提出課題への添削を行い返却する。また提出課題を通して内容の理解度を確認し、次回授業において補足説明等を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回の授業での課題				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	各教員のまとめの課題など				
	その他	30	全体での課題など				
自由記載							
オフィスアワー	林・永久・李・三上 研究室 月・火・水曜日 12時15分~13時 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp(三上) k-lee@sumire.ac.jp(李) y-hayashi@sumire.ac.jp(林) k-nagahisa@sumire.ac.jp(永久)						
教員相互授業参観	実践は附属幼稚園その他の場所で行いますので、事前に連絡してください						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】 子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】 子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 実践演習の意義について 教職履修カルテの意義と活用について	林 李 永久 三上	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み方等を説明する	教育実習・保育実習の振り返りをした後、それぞれの専門科目についての教科書や資料を読み返す	90
2 /	特別な配慮を必要とする子どもに理解 乳児の模擬保育内容、指導案の検討	林	講義および演習 グループで指導案の計画を立てる	復習用ワークシートを配付しまとめる 討議した結果をもとに指導案を完成させる	90
3 /	特別な配慮を必要とする子どもへの関わり方 乳児の模擬保育内容の準備	林	講義および演習 立案した内容を確認・準備等をする 事例を通して	演習 ワークシートに取り組む	90
4 /	特別な配慮を必要とする子どもについての連携 乳児の模擬保育の実施	林	講義および演習 保育園で模擬保育を行う グループ発表	他者の発表をまとめる	90
5 /	保育職・教育職を知る ・保育職の意義及び職務内容 ・教育職の意義及び職務内容 ・保育者の責任及び使命	李	チーム活動を踏まえて、講義と演習を行う	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』を参考にしながら、事前学習シートを完成させる	60
6 /	保育者としての専門性の向上を図る ・どのような保育記録を書くか ・記録から何を読み取るか ・保育に役立つ記録の書き方	李	講義及びチーム活動を踏まえた演習を行い、確認小テストも行う	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配付し、完成させる	60
7 /	保育マップ型記録を作ってみよう ・保育マップ型記録とは ・保育マップ型記録の要素 ・保育の狙いをどう設定するか	李	講義及び演習 チーム活動を踏まえたグループ発表を中心に	予習 グループワークがスムーズに展開できるよう、予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
8 /	子ども理解 乳幼児の成長・発達	永久	講義及び確認小テスト	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』における乳幼児の成長・発達を再確認しておく	60
9 /	子ども理解 個々へのかかわりと全体へのかかわり	永久	講義及び演習 個別の指導・支援計画の作成	復習 個別の指導・支援計画を仕上げる	60
10 /	子ども理解 乳幼児に寄り添うということ	永久	講義及び演習 グループ発表	予習 ワークシート記入	60
11 /	乳幼児の模擬保育 計画と指導案作成	三上	グループで指導内容を計画し、指導案の作成を行う	乳幼児(3.4.5歳児)の造形遊びについて調べ、資料等を集めておく	90
12 /	乳幼児の模擬保育 計画の確認と準備	三上	立案した内容を確認・準備等をする	造形遊びに必要な材料を集め教材研究をしておく	90
13 /	乳幼児の模擬保育 実践	三上	保育園、附属幼稚園で模擬保育を行う	模擬保育の反省をまとめる	90
14 /	模擬保育授業の振り返りと考察 教職履修カルテのまとめ	林 李 永久 三上	ビデオに収録した乳児・幼児の模擬保育の様子を観ながら考察を行う	模擬保育の考察をまとめる	90
15 /	授業全体の総括とまとめ 教職履修カルテのまとめ	林 李 永久 三上	講義 それぞれの授業担当者からの総括	今まで授業で使った資料や教科書を読み返しておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育・教職実践演習(幼稚園)(1232)	林 幸範(専任)・永久 欣也(専任)	2年次	後期	2	演習	選択	○
	李 霞(専任)・三上 佳子(専任)						実務経験
							○
Seminar on Practice Nursery and Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・教職課程の科目や保育の専門科目を振り返り、教育実習・保育実習の経験を通して、これまでの学びを集大成していく。 ・教育実習・保育実習から自己の課題を見つけて、自ら将来保育者として保育の現場に立つ自覚を確認し、さらなる知識と実践力を身につけていく。 ・模擬授業を通して乳児とのかかわり方や援助の方法、幼児とのかかわり方や指導の方法などを再確認し、教育実習・保育実習での課題を学び直していく。 ・教職履修カルテの意義を理解し、活用することができる。							
<b>授業の内容</b> 本演習は、実務経験のある教員などが担当する。 教職履修カルテを活用して、これまでに取得した単位の基礎知識を再確認し、不十分な分野の見直しをするとともに、既習知識と実習の経験から得た教育・保育の技術や指導法を活かせる演習をしていく。 授業の構成は、1. 教育の制度・方法 2. 子ども理解 3. 模擬保育を通しての乳児の保育実践と方法論 4. 模擬保育を通しての幼児の保育実践と方法論の4部構成とする。 教育の制度・方法の分野では、実際の現場の内容を把握した上で保育者としての使命感や責任感及び教育的愛をはじめ、基本的な方法論を踏まえた検討を行う。子ども理解では、乳幼児の成長・発達をふまえながら現場における多様な子どもに寄り添う保育・教育について学ぶ。模擬保育では近隣の提携している保育園で乳児対象の実践を行う。幼児対象の模擬保育は、短大附属幼稚園で実践を行う予定である。教育実習の経験から学んだ実践の方法を活かし、ここでは造形表現に活動を絞って、環境構成の方法、指導の流れや幼児の発達を踏まえた教材研究そして、ワークショップ形式での子どもとのかかわりの中で、一人ひとりに寄り添って指導していく方法について学んでいく。 なお、本授業では、教職履修カルテを活用するので、必ず毎回確認をすること。							
教科書	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 (フレーベル館) 価格(本体190円+税) 『保育所保育指針解説』 厚生労働省 (フレーベル館) 価格(本体190円+税) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 (フレーベル館) 価格(本体249円+税)						
参考書	月刊保育とカリキュラム 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針(原本)』 発行人浅香俊二(株式会社チャイルド本社)						
担当者からのメッセージ	この科目の受講資格は、教育実習または保育実習の単位を取得した者である。実習の経験を活かして、もう一度専門科目を振り返り、幼児教育・保育に関する学びをさらに深めていただきたい。また、保育者としての自分をイメージしながら積極的に授業に取り組み実践につながる学びをしていくことが望まれる。 模擬保育は附属幼稚園や近隣の保育所で行う予定である。事前の連絡や掲示を確認しておくこと。 教科書以外の資料は、各担当教員から授業時に配付される。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	模擬授業に関しては、それぞれの実践をビデオに撮り、総括の授業時に振り返りと考察を行う。 「教育の制度・方法」及び「子ども理解」に関しては、提出課題への添削を行い返却する。また提出課題を通して内容の理解度を確認し、次回授業において補足説明等を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回の授業での課題				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	各教員のまとめの課題など				
	その他	30	全体での課題など				
自由記載							
オフィスアワー	林・永久・李・三上 研究室 月・火・水曜日 12時15分~13時 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp(三上) k-lee@sumire.ac.jp(李) y-hayashi@sumire.ac.jp(林) k-nagahisa@sumire.ac.jp(永久)						
教員相互授業参観	実践は附属幼稚園その他の場所で行いますので、事前に連絡してください						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】 子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】 子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 実践演習の意義について	林 李 永久 三上	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み方等を説明する	教育実習・保育実習の振り返りをした後、それぞれの専門科目についての教科書や資料を読み返す	90
2 /	保育職・教育職を知る ・保育職の意義及び職務内容 ・教育職の意義及び職務内容 ・保育者の責任及び使命	李	チーム活動を踏まえて、講義と演習を行う	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』を参考にしながら、事前学習シートを完成させる	60
3 /	保育者としての専門性の向上を図る ・どのような保育記録を書くか ・記録から何を読み取るか ・保育に役立つ記録の書き方	李	講義及びチーム活動を踏まえた演習を行い、確認小テストも行う	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配付し、完成させる	60
4 /	保育マップ型記録を作ってみよう ・保育マップ型記録とは ・保育マップ型記録の要素 ・保育の狙いをどう設定するか	李	講義及び演習 チーム活動を踏まえたグループ発表を中心に	予習 グループワークがスムーズに展開できるように、予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
5 /	子ども理解 乳幼児の成長・発達	永久	講義及び確認小テスト	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』における乳幼児の成長・発達を再確認しておく	60
6 /	子ども理解 個々へのかかわりと全体へのかかわり	永久	講義及び演習 個別の指導・支援計画の作成	復習 個別の指導・支援計画を仕上げる	60
7 /	子ども理解 乳幼児に寄り添うということ	永久	講義及び演習 グループ発表	予習 ワークシート記入	60
8 /	乳幼児の模擬保育 計画と指導案作成	三上	グループで指導内容を計画し、指導案の作成を行う	乳幼児(3.4.5歳児)の造形遊びについて調べ、資料等を集めておく	90
9 /	乳幼児の模擬保育 計画の確認と準備	三上	立案した内容を確認・準備等をする	造形遊びに必要な材料を集め教材研究をしておく	90
10 /	乳幼児の模擬保育 実践	三上	保育園、附属幼稚園で模擬保育を行う	模擬保育の反省をまとめる	90
11 /	特別な配慮を必要とする子どもに理解 乳児の模擬保育内容、指導案の検討	林	講義および演習 グループで指導案の計画を立てる	復習用ワークシートを配付しまとめる 討議した結果をもとに指導案を完成させる	90
12 /	特別な配慮を必要とする子どもへの関わり方 乳児の模擬保育内容の準備	林	講義および演習 立案した内容を確認・準備等をする 事例を通して	演習 ワークシートに取り組む	90
13 /	特別な配慮を必要とする子どもについての連携 乳児の模擬保育の実施	林	講義および演習 保育園で模擬保育を行う グループ発表	他者の発表をまとめる	90
14 /	模擬保育授業の振り返りと考察	林 李 永久 三上	ビデオに収録した乳児・幼児の模擬保育の様子を観ながら考察を行う	模擬保育の考察をまとめる	90
15 /	授業全体の総括とまとめ	林 李 永久 三上	講義 それぞれの授業担当者からの総括	今まで授業で使った資料や教科書を読み返しておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育・教職実践演習(幼稚園)(2141)	林 幸範(専任)・永久 欣也(専任) 李 霞(専任)・三上 佳子(専任)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
							○
Seminar on Practice Nursery and Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・教職課程の科目や保育の専門科目を振り返り、教育実習・保育実習の経験を通して、これまでの学びを集大成していく。 ・教育実習・保育実習から自己の課題を見つけて、自ら将来保育者として保育の現場に立つ自覚を確認し、さらなる知識と実践力を身につけていく。 ・模擬授業を通して乳児とのかかわり方や援助の方法、幼児とのかかわり方や指導の方法などを再確認し、教育実習・保育実習での課題を学び直していく。 ・教職履修カルテの意義を理解し、活用することができる。							
<b>授業の内容</b> 本演習は、実務経験のある教員などが担当する。 教職履修カルテを活用して、これまでに取得した単位の基礎知識を再確認し、不十分な分野の見直しをするとともに、既習知識と実習の経験から得た教育・保育の技術や指導法を活かせる演習をしていく。 授業の構成は、1. 教育の制度・方法 2. 子ども理解 3. 模擬保育を通しての乳児の保育実践と方法論 4. 模擬保育を通しての幼児の保育実践と方法論の4部構成とする。 教育の制度・方法の分野では、実際の現場の内容を把握した上で保育者としての使命感や責任感及び教育的愛をはじめ、基本的な方法論を踏まえた検討を行う。子ども理解では、乳幼児の成長・発達をふまえながら現場における多様な子どもに寄り添う保育・教育について学ぶ。模擬保育では近隣の提携している保育園で乳児対象の実践を行う。幼児対象の模擬保育は、短大附属幼稚園で実践を行う予定である。教育実習の経験から学んだ実践の方法を活かし、ここでは造形表現に活動を絞って、環境構成の方法、指導の流れや幼児の発達を踏まえた教材研究そして、ワークショップ形式での子どもとのかかわりの中で、一人ひとりに寄り添って指導していく方法について学んでいく。 なお、本授業では、教職履修カルテを活用するので、必ず毎回確認をすること。							
教科書	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 (フレーベル館) 価格(本体190円+税) 『保育所保育指針解説』 厚生労働省 (フレーベル館) 価格(本体190円+税) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 (フレーベル館) 価格(本体249円+税)						
参考書	月刊保育とカリキュラム 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針(原本)』 発行人浅香俊二(株式会社チャイルド本社)						
担当者からのメッセージ	この科目の受講資格は、教育実習または保育実習の単位を取得した者である。実習の経験を活かして、もう一度専門科目を振り返り、幼児教育・保育に関する学びをさらに深めていただきたい。また、保育者としての自分をイメージしながら積極的に授業に取り組み実践につながる学びをしていくことが望まれる。 模擬保育は附属幼稚園や近隣の保育所で行う予定である。事前の連絡や掲示を確認しておくこと。 教科書以外の資料は、各担当教員から授業時に配付される。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	模擬授業に関しては、それぞれの実践をビデオに撮り、総括の授業時に振り返りと考察を行う。 「教育の制度・方法」及び「子ども理解」に関しては、提出課題への添削を行い返却する。また提出課題を通して内容の理解度を確認し、次回授業において補足説明等を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回の授業での課題				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	各教員のまとめの課題など				
	その他	30	全体での課題など				
自由記載							
オフィスアワー	林・永久・李・三上 研究室 月・火・水曜日 12時15分~13時 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp(三上) k-lee@sumire.ac.jp(李) y-hayashi@sumire.ac.jp(林) k-nagahisa@sumire.ac.jp(永久)						
教員相互授業参観	実践は附属幼稚園その他の場所で行いますので、事前に連絡してください						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】 子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】 子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 実践演習の意義について	林 李 永久 三上	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み方等を説明する	教育実習・保育実習の振り返りをした後、それぞれの専門科目についての教科書や資料を読み返す	90
2 /	子ども理解 乳幼児の成長・発達	永久	講義及び確認小テスト	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』における乳幼児の成長・発達を再確認しておく	60
3 /	子ども理解 個々へのかかわりと全体へのかかわり	永久	講義及び演習 個別の指導・支援計画の作成	復習 個別の指導・支援計画を仕上げる	60
4 /	子ども理解 乳幼児に寄り添うということ	永久	講義及び演習 グループ発表	予習 ワークシート記入	60
5 /	乳幼児の模擬保育 計画と指導案作成	三上	グループで指導内容を計画し、指導案の作成を行う	乳幼児(3.4.5歳児)の造形遊びについて調べ、資料等を集めておく	90
6 /	乳幼児の模擬保育 計画の確認と準備	三上	立案した内容を確認・準備等をする	造形遊びに必要な材料を集め教材研究をしておく	90
7 /	乳幼児の模擬保育 実践	三上	保育園、附属幼稚園で模擬保育を行う	模擬保育の反省をまとめる	90
8 /	特別な配慮を必要とする子どもに理解 乳児の模擬保育内容、指導案の検討	林	講義および演習 グループで指導案の計画を立てる	復習用ワークシートを配付しまとめる 討議した結果をもとに指導案を完成させる	90
9 /	特別な配慮を必要とする子どもへの関わり方 乳児の模擬保育内容の準備	林	講義および演習 立案した内容を確認・準備等をする 事例を通して	演習 ワークシートに取り組む	90
10 /	特別な配慮を必要とする子どもについての連携 乳児の模擬保育の実施	林	講義および演習 保育園で模擬保育を行う グループ発表	他者の発表をまとめる	90
11 /	保育職・教育職を知る ・保育職の意義及び職務内容 ・教育職の意義及び職務内容 ・保育者の責任及び使命	李	チーム活動を踏まえて、講義と演習を行う	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』を参考にしながら、事前学習シートを完成させる	60
12 /	保育者としての専門性の向上を図る ・どのような保育記録を書くか ・記録から何を読み取るか ・保育に役立つ記録の書き方	李	講義及びチーム活動を踏まえた演習を行い、確認小テストも行う	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配付し、完成させる	60
13 /	保育マップ型記録を作ってみよう ・保育マップ型記録とは ・保育マップ型記録の要素 ・保育の狙いをどう設定するか	李	講義及び演習 チーム活動を踏まえたグループ発表を中心に	予習 グループワークがスムーズに展開できるよう、予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
14 /	模擬保育授業の振り返りと考察	林 李 永久 三上	ビデオに収録した乳児・幼児の模擬保育の様子を観ながら考察を行う	模擬保育の考察をまとめる	90
15 /	授業全体の総括とまとめ	林 李 永久 三上	講義 それぞれの授業担当者からの総括	今まで授業で使った資料や教科書を読み返しておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育・教職実践演習(幼稚園)(2242)	林 幸範(専任)・永久 欣也(専任) 李 霞(専任)・三上 佳子(専任)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
							○
Seminar on Practice Nursery and Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・教職課程の科目や保育の専門科目を振り返り、教育実習・保育実習の経験を通して、これまでの学びを集大成していく。 ・教育実習・保育実習から自己の課題を見つけて、自ら将来保育者として保育の現場に立つ自覚を確認し、さらなる知識と実践力を身につけていく。 ・模擬授業を通して乳児とのかかわり方や援助の方法、幼児とのかかわり方や指導の方法などを再確認し、教育実習・保育実習での課題を学び直していく。 ・教職履修カルテの意義を理解し、活用することができる。							
<b>授業の内容</b> 本演習は、実務経験のある教員などが担当する。 教職履修カルテを活用して、これまでに取得した単位の基礎知識を再確認し、不十分な分野の見直しをするとともに、既習知識と実習の経験から得た教育・保育の技術や指導法を活かせる演習をしていく。 授業の構成は、1. 教育の制度・方法 2. 子ども理解 3. 模擬保育を通しての乳児の保育実践と方法論 4. 模擬保育を通しての幼児の保育実践と方法論の4部構成とする。 教育の制度・方法の分野では、実際の現場の内容を把握した上で保育者としての使命感や責任感及び教育的愛をはじめ、基本的な方法論を踏まえた検討を行う。子ども理解では、乳幼児の成長・発達をふまえながら現場における多様な子どもに寄り添う保育・教育について学ぶ。模擬保育では近隣の提携している保育園で乳児対象の実践を行う。幼児対象の模擬保育は、短大附属幼稚園で実践を行う予定である。教育実習の経験から学んだ実践の方法を活かし、ここでは造形表現に活動を絞って、環境構成の方法、指導の流れや幼児の発達を踏まえた教材研究そして、ワークショップ形式での子どもとのかかわりの中で、一人ひとりに寄り添って指導していく方法について学んでいく。 なお、本授業では、教職履修カルテを活用するので、必ず毎回確認をすること。							
教科書	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 (フレーベル館) 価格(本体190円+税) 『保育所保育指針解説』 厚生労働省 (フレーベル館) 価格(本体190円+税) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 (フレーベル館) 価格(本体249円+税)						
参考書	月刊保育とカリキュラム 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針(原本)』 発行人浅香俊二(株式会社チャイルド本社)						
担当者からのメッセージ	この科目の受講資格は、教育実習または保育実習の単位を取得した者である。実習の経験を活かして、もう一度専門科目を振り返り、幼児教育・保育に関する学びをさらに深めていただきたい。また、保育者としての自分をイメージしながら積極的に授業に取り組み実践につながる学びをしていくことが望まれる。 模擬保育は附属幼稚園や近隣の保育所で行う予定である。事前の連絡や掲示を確認しておくこと。 教科書以外の資料は、各担当教員から授業時に配付される。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	模擬授業に関しては、それぞれの実践をビデオに撮り、総括の授業時に振り返りと考察を行う。 「教育の制度・方法」及び「子ども理解」に関しては、提出課題への添削を行い返却する。また提出課題を通して内容の理解度を確認し、次回授業において補足説明等を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回の授業での課題				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	各教員のまとめの課題など				
	その他	30	全体での課題など				
自由記載							
オフィスアワー	林・永久・李・三上 研究室 月・火・水曜日 12時15分~13時 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp(三上) k-lee@sumire.ac.jp(李) y-hayashi@sumire.ac.jp(林) k-nagahisa@sumire.ac.jp(永久)						
教員相互授業参観	実践は附属幼稚園その他の場所で行いますので、事前に連絡してください						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】 子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】 子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 実践演習の意義について	林 李 永久 三上	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み方等を説明する	教育実習・保育実習の振り返りをした後、それぞれの専門科目についての教科書や資料を読み返す	90
2 /	乳幼児の模擬保育 計画と指導案作成	三上	グループで指導内容を計画し、指導案の作成を行う	乳幼児(3.4.5歳児)の造形遊びについて調べ、資料等を集めておく	90
3 /	乳幼児の模擬保育 計画の確認と準備	三上	立案した内容を確認・準備等をする	造形遊びに必要な材料を集め教材研究をしておく	90
4 /	乳幼児の模擬保育 実践	三上	保育園、附属幼稚園で模擬保育を行う	模擬保育の反省をまとめる	90
5 /	特別な配慮を必要とする子どもに理解 乳児の模擬保育内容、指導案の検討	林	講義および演習 グループで指導案の計画を立てる	復習用ワークシートを配付しまとめる 討議した結果をもとに指導案を完成させる	90
6 /	特別な配慮を必要とする子どもへの関わり方 乳児の模擬保育内容の準備	林	講義および演習 立案した内容を確認・準備等をする 事例を通して	演習 ワークシートに取り組む	90
7 /	特別な配慮を必要とする子どもについての連携 乳児の模擬保育の実施	林	講義および演習 保育園で模擬保育を行う グループ発表	他者の発表をまとめる	60
8 /	保育職・教育職を知る ・保育職の意義及び職務内容 ・教育職の意義及び職務内容 ・保育者の責任及び使命	李	チーム活動を踏まえて、講義と演習を行う	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』を参考にしながら、事前学習シートを完成させる	60
9 /	保育者としての専門性の向上を図る ・どのような保育記録を書くか ・記録から何を読み取るか ・保育に役立つ記録の書き方	李	講義及びチーム活動を踏まえた演習を行い、確認小テストも行う	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配付し、完成させる	60
10 /	保育マップ型記録を作ってみよう ・保育マップ型記録とは ・保育マップ型記録の要素 ・保育の狙いをどう設定するか	李	講義及び演習 チーム活動を踏まえたグループ発表を中心に	予習 グループワークがスムーズに展開できるように、予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
11 /	子ども理解 乳幼児の成長・発達	永久	講義及び確認小テスト	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』における乳幼児の成長・発達を再確認しておく	60
12 /	子ども理解 個々へのかかわりと全体へのかかわり	永久	講義及び演習 個別の指導・支援計画の作成	復習 個別の指導・支援計画を仕上げる	60
13 /	子ども理解 乳幼児に寄り添うということ	永久	講義及び演習 グループ発表	予習 ワークシート記入	60
14 /	模擬保育授業の振り返りと考察	林 李 永久 三上	ビデオに収録した乳児・幼児の模擬保育の様子を観ながら考察を行う	模擬保育の考察をまとめる	90
15 /	授業全体の総括とまとめ	林 李 永久 三上	講義 それぞれの授業担当者からの総括	今まで授業で使った資料や教科書を読み返しておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	柚木たまみ(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・幼児教育保育における音楽表現領域の役割、可能性を知り、主体的に実践準備を進めることができる。 ・現場での実践を通して、さまざまな音楽の使い方、音楽活動のあり方を理解する。							
<b>授業の内容</b> この授業では、教員の長年にわたる演奏家としてのキャリア、そして音楽療法士としての臨床経験を生かし、「生きた」音楽の情報を発信していく。 音楽表現は、他の領域とつながり、さまざまなねらいを持って展開することができる重要なツールである。 具体的な実践やロールプレイ、活動参観を通してそのイメージを捉え、各々決めたテーマの研究を進めていく。							
教科書	なし						
参考書	「クロックオーケストラ」 <a href="https://bunkyo.repo.nii.ac.jp/">https://bunkyo.repo.nii.ac.jp/</a> 他、授業内に提示、紹介						
担当者からのメッセージ	音楽の使い方をいろいろ知ることにより、表現手段を多く持ち、表現能力を磨きましょう。 そして、幼児教育保育の現場で自信を持って実践する最後の準備をしましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	お互いに積極的な意見を出し合い、ディスカッションすることも大切です。 自分の考えを、いつも、言語化できるように心がけてください。 また、外部実習もあります。ルールを守りながら、自分の能力を発揮しましょう。 教員からのフィードバックは、活動の節目で必ず口頭によるコメントや添削により行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	研究テーマの決定に向けた意欲的、積極的な活動を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	決定した研究テーマの発表と専門演習Ⅱに向けた計画内容の充実度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	柚木研究室 金曜日 16時10分～17時 その他随時応じる e-mailによる予約が望ましい						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション ゼミナールの進め方について説明	柚木	講義 演習	ノート作成	30
2 /	音楽表現領域でのテーマ決定に向けて 学生各々の研究テーマにより指導内容は異なる	柚木	講義、文献購読、演習等、 学生各々に方法を提示する	ノート作成 関心のあるテーマをピックアップ	60
3 /	テーマ決定のための活動	柚木	講義、文献購読、演習、実 習	ノート作成 情報収集	60
4 /	テーマ決定のための活動	柚木	講義、文献購読、演習、実 習	ノート作成 情報収集	60
5 /	テーマ決定のための活動	柚木	講義、文献購読、演習、実 習	ノート作成 情報収集	60
6 /	テーマ決定のための活動	柚木	講義、演習、実習	発表準備	60
7 /	テーマ決定に向けての活動	柚木	演習、実習	発表準備	90
8 /	研究テーマの発表 専門演習Ⅱに向けて	柚木	演習、発表	発表準備 専門演習Ⅱに向けてのまとめ	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	北尾 岳夫(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・`運動遊び、に関する指導計画の立案と実践ができる。 ・子どもの`野外活動、や`自然体験活動、の意義を理解し、その計画の立案と実践ができる。 ・保育現場での様々な行事やイベントの企画立案ができ、中心となって運営することができる。							
<b>授業の内容</b> 北尾が担当する専門演習については、`運動遊び、`自然体験活動、`野外活動、という3つのキーワードを設定する。取り組む内容によっては、授業時間以外の活動も必要となり、土日や休暇中の活動も行う場合がある。子どもたちを元気にするために、私たちにできることを一緒に考えて実践したい。 北尾担当の専門演習を選択した学生は、幼児体育Ⅲも受講すること。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	専門演習は、担当教員の専門性のもとに、各自の興味関心に対する知識と理解を深める科目である。したがって、主体的な`学び、の度合いや、専門演習報告会に向けての取り組み姿勢が受講態度として評価の対象となる。受け身になることなく、担当教員との積極的なコミュニケーションを図りながら、自分の得意分野を作り上げて欲しい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	専門演習では、授業時間外での取り組みも必要になる場合がある。 必要に応じて、質問に対する回答やフィードバックを行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業に対する積極的な姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	クラスでの取り組みに関わる貢献度とグループ内での人間関係性				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月曜～木曜日 12時15分～12時45分 *木曜日は12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	専門演習Ⅰ(北尾クラス)の流れを理解する	北尾	演習	各自の興味関心について、発言できるように準備しておく	90
2 /	体験活動、について理解を深める	北尾	演習	子どもの体験活動、の事例を調べておく。	180
3 /	ウォームアップイベントの企画	北尾	演習	クラス内で行うイベントについて、各自の考えをまとめておく	180
4 /	ウォームアップイベントの具体的な立案	北尾	演習	決められたイベントに向けて、授業時間内ではできなかった準備作業を行う	180
5 /	ウォームアップイベントの実施	北尾	演習	決められたイベントに向けて準備作業を行う	180
6 /	体験活動、の実践について検討する(実践計画の作成)	北尾	演習	各自の案を考えて発表の準備をする。	180
7 /	体験活動、の実践について検討する(実践に伴う役割分担)	北尾	演習	ゼミで決定した内容について、必要な役割分担案を検討し発表の準備をする。	180
8 /	まとめ	北尾	演習	専門演習Ⅱに向けての準備活動をする	180
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	深尾 秀一(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・造形作品制作をとおして「自己における絶対」の探求ができる。 ・素材の扱いについて、技術や知識を学ぶ。 ・美術教育の重要性を理解する。							
<b>授業の内容</b> 領域を造形とし、個々の作品制作をとおして「自己における絶対」の探求を主眼としています。自己に内在するイメージの造形表現における具現化を目標とし、そのための素材研究や教材研究などの美術教育についても考えていきます。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	個々の問題意識を中心に進めるため、主体的な取り組みが必須です。素材の取り扱いの違いにより、時間外作業もあります。なお、作品制作に関する材料費は個人持ちとなる場合があります。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	研究課題作品に関して、中間発表、および発表展覧会の評価を行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	課題制作への主体的な取り組みを評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	研究課題作品の評価				
	自由記載						
オフィスアワー	深尾研究室 水曜日 16時10分～17時10分（事前予約が望ましい） その他メールでの質問随時受付 件名に学籍番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	h-fukao@sumire.ac.jp（深尾）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】 子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 造形の領域と研究について	深尾	講義、演習	研究の方向性を広い視野で検討しておく	90
2 /	前期プロジェクト研究計画書の作成	深尾	演習	計画書案を完成させる	90
3 /	研究計画書に基づいて個人指導を行う	深尾	演習	計画書の再検討および完成	90
4 /	作品制作指導とセミナー 前期プロジェクト エスキースの作成	深尾	演習	エスキースの制作を進める	90
5 /	作品制作指導とセミナー 前期プロジェクト作品試作	深尾	演習	試作作品制作を進める	90
6 /	作品制作指導とセミナー 前期プロジェクト制作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
7 /	作品制作指導とセミナー 前期プロジェクト完成	深尾	演習	研究作品制作を完成させる	90
8 /	作品制作指導とセミナー 展示発表	深尾	講義、演習	展示発表準備	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	松木 宏史(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・子どもを持つ世帯の生活問題について基本的な事項を知る。 ・フィールドワークや施設見学を通じて社会的養護の現状を知る。 ・フィールドワークや施設見学を通じて支援を必要とする子どもたちの現状を知る。							
<b>授業の内容</b> 社会福祉施設での実践経験を持つ教員による演習授業である。 授業の内容は大きく文献の輪読とフィールドワークに分かれる。 文献の輪読では、指定されたテキストを学生で分担し内容をまとめ発表する。 フィールドワークでは、社会福祉施設や民間団体の協力を得ながら施設見学や子どもたちの保育を実際に受け持つ体験実習を行う。 なお、フィールドワークは相手のあることなので、通常の授業時間内では消化できない。その場合は土曜日や他の曜日・時間帯に振り替え開講を行う場合がある。							
教科書	『子どもの貧困ハンドブック』 松本伊智朗 編 (かもがわ出版) 価格(本体2,200円+税)						
参考書	学生の興味関心に応じて演習のなかで紹介する						
担当者からのメッセージ	子どもの問題に限らず、社会福祉全般に興味関心のある学生の受講を歓迎します。「私は短大でこれを学んだ」と胸を張って卒業できるようお互い努力しましょう。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	文献輪読に関しては発表のつど教員からコメントを行う。 フィールドワークに関してはレポートの提出を求める。教員がチェックのうえ学生に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	文献輪読の発表内容から評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	フィールドワークや施設見学を踏まえた感想・考察				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	松木研究室 木曜日 12時40分～13時10分(事前にメール等で予約を取ること)						
担当教員E-mail	h-matuki@sumire.ac.jp(松木)						
教員相互授業参観	施設見学に関しては、先方の事情により公開できない場合がある						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP10)【態度・志向性】 子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】 人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション ゼミナール運営について話し合い	松木	演習	事前にシラバスを読んでおく この演習で何を学びたいか口 頭で述べられるようにしておく	60
2 /	テキスト輪読・発表	松木	学生による発表・演習	テキスト該当箇所を読んでおく	120
3 /	テキスト輪読・発表	松木	学生による発表・演習	テキスト該当箇所を読んでおく	120
4 /	テキスト輪読・発表	松木	学生による発表・演習	テキスト該当箇所を読んでおく	120
5 /	テキスト輪読・発表	松木	学生による発表・演習	テキスト該当箇所を読んでおく	120
6 /	テキスト輪読・発表	松木	学生による発表・演習	テキスト該当箇所を読んでおく	120
7 /	社会福祉施設見学	松木	社会福祉施設の見学	施設の概要をレポートにまとめる	120
8 /	社会福祉施設見学	松木	社会福祉施設の見学	施設の概要をレポートにまとめる	120
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	久米 央也(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ 幼稚園や保育園、認定こども園で、園児が算数の素地を遊びながら学べるためにできること（カリキュラム開発や教材作り、保育環境など）を考えることができる。 ・ 園児が遊びながら算数の素地を学ぶことができる教材を作成したり、保育環境やカリキュラムをまとめたりした結果を発表することができる。							
<b>授業の内容</b> 園児が数・量・図形に興味を持ち、遊びながら算数の素地を学ぶには、どのような教育プログラムや教材、保育環境を用意すればよいのかについて、各自がテーマを決めて研究を進めていく。まずは、算数の素地とは何かについて、文献から研究し、自分にあったテーマを決め出す。研究し開発した内容については、中間発表会で相互評価をしていく。							
教科書	なし						
参考書	テーマにあった参考書を提示します						
担当者からのメッセージ	幼児教育において、数・量・図形の興味関心や感覚を養うことは大切なねらいのひとつです。それぞれが、テーマをもって主体的に調査研究を進めていきます。成績評価の「受講態度」については、「主体的に取り組んでいるか」を観点とします。「わたしは大学で確かに～について研究しました」と言えるように、サポートしていきます。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎時間、研究の進捗状況について、個別に指導をしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	主体的に自分の研究したいことに対し取り組んでいたかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	課題について自分の考えが持っていたかについて評価する				
	その他	30	算数の素地を培う教材について評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前に連絡してください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP2)【知識・理解】幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 専門演習について学び方を理解する 幼児期に必要な算数的活動について学ぶ(文献を読む)	久米	演習	論文・文献を読む	100
2 /	幼児期における数学的思考の素地を育てる遊びについて考え体験する(すみれガーデンでの調査研究) テーマに従って、調査、研究を進める	久米	演習	すみれガーデンでの調査研究をまとめる	100
3 /	自分の研究テーマを決める 研究テーマに従って、調査、研究を進める	久米	演習	研究テーマをまとめる	100
4 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材を作る計画を立てる)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
5 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材を作成する)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
6 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材を作成する・試す)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
7 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(幼稚園で試す)	久米	演習	修正点・改善点をまとめる	100
8 /	研究成果について発表をする 相互評価をする	久米	演習	発表の成果をまとめる	100
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	李 霞(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・幼児教育・保育の特徴を知る。 ・3.4.5歳児の発達と保育者の役割について理解する。 ・幼児との関わり方や幼児に対する援助の方法を学び、運用することができる。							
<b>授業の内容</b> 幼児教育は生きる力の基礎を培うことを目的としており、保育者には子どもの目線に合わせたより良い保育の実践を提供する努力が求められる。生きる力の基礎を育むために必要な視点や方法とは何かを究明するために、本授業では、3.4.5歳児の発達と保育者の役割及び、幼児との関わり方や幼児に対する援助の方法を中心に見ていく。							
教科書	なし						
参考書	安見克夫『3.4.5歳児への言葉かけ 実践！ふれあいテクニック』Gakken 原坂一郎『子どもがこっちを向く「ことばかけ」』ひかりのくに 若林千種『気になる子の保育がうまくいく方法』ひかりのくに など						
担当者からのメッセージ	グループワークも多く取り入れているため、積極的な参加が不可欠である。 講義内容について、常に「自分はどうか」「自分ならどうするか」を考えながら受講すること。 毎回授業の終わりにその時間に学んだことや考えたことをポートフォリオにまとめて授業を終了する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、授業を受けた感想を一枚ポートフォリオに書いてもらう。回収したポートフォリオや復習用ワークシートの添削を行い、次回の授業時に学生に返却する。授業内容に対する学生たちの理解を深めるために、学生の中でよくできた感想や模範解答を授業開始時にスライドにて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	毎回授業を受けた感想の提出を求める				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	一学期の授業を振り返って、気づいたこと、重要と思ったことに関するレポート				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	李研究室 月・火・水曜日 12時15分～12時50分						
担当教員E-mail	k-lee@sumire.ac.jp (李)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	入園・進級当初の子どもたちⅠ 保育者に安心感を抱き、安定して過ごす クラスみんなで一緒に過ごす楽しさを味わう	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習してもらうように指 示する	40
2 /	子ども同士をつなぐかわりⅠ 自分の思いや考えを伝えながら、友達と遊び を進めようとする	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習してもらうように指 示する	40
3 /	子ども同士をつなぐかわりⅡ いろいろな遊びを通し、試したり工夫したり することを楽しむ	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	復習 次回小テストのため第1～5 回の授業内容を復習する	90
4 /	夏を楽しむ 身近な夏の事象に興味・関心を持つ	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習してもらうように指 示する	40
5 /	子どもの気持ちを知って、保育を充実させる Ⅰ 自分なりの目当てに向かって、挑戦しようと 意欲的にかかわる	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習してもらうように指 示する	40
6 /	子どもの気持ちを知って、保育を充実させる Ⅱ 友達と心をつなげ、話し合いながら遊びを進 めようとする	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習してもらうように指 示する	40
7 /	主体性を大切にすかわり 友達とイメージを共有し、なりきって楽しむ 目標をもって取り組み、満足感を味わう	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習してもらうように指 示する	40
8 /	進級・就学に向けて 進級への期待をもって遊びや生活を進め、成 長を感じる	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習してもらうように指 示する	40
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	浜崎 由紀(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・児童文化財（絵本、人形劇等）のメディアの特性について理解する。 ・児童文化財（人形劇）の作品を制作することができる。 ・制作した作品（人形劇）を用いて人前で発表することができる。 ・児童文化活動（人前で演じる）ことによって、子どもとのコミュニケーションについて理解を深める。							
<b>授業の内容</b> 児童文化財（絵本、人形劇）のそれぞれのメディアの特性について理解したうえで、作品を制作する。自分で制作した作品を学生や子どもたちの前で発表し、子どもの鑑賞態度から子ども理解を深める。							
教科書	なし						
参考書	適宜、授業時に紹介する						
担当者からのメッセージ	ゼミ形式による演習のため、自己課題を明確にし、積極的に授業に参加してほしい。グループワークを行うので、コミュニケーション力を身につけ、「子どもたちが楽しめるものを楽しみながらつくる」ことをモットーに作品づくりに取り組んでほしい。記録のため、毎時、ノートを持参すること。 人形制作（個人用）にかかる材料については、実費を徴収する。（¥1000程度）						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は、コメントをつけて返却する。必要箇所については、授業において補足説明や資料配付等を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	課題提出				
	その他	60	制作課題（30%）、発表（30%）				
	自由記載						
オフィスアワー	浜崎研究室 木曜日 12時40分～13時10分 その他、授業終了後に質問を受け付ける						
担当教員E-mail	y-hamasaki@sumire.ac.jp（浜崎）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育における児童文化財の役割	浜崎	講義 演習	講義内容をまとめる	90
2 /	一人で演じる人形劇1 作品の理解	浜崎	講義 制作	講義内容をまとめる	90
3 /	一人で演じる人形劇2 制作計画	浜崎	制作 演習	制作の計画をまとめる	90
4 /	一人で演じる人形劇3 人形制作	浜崎	制作 演習	作品制作	90
5 /	一人で演じる人形劇4 人形制作と練習	浜崎	演習	練習	90
6 /	一人で演じる人形劇5 練習と振り返り	浜崎	演習	練習と振り返り	90
7 /	一人で演じる人形劇6 発表	浜崎	講義 演習	講義内容をまとめる	90
8 /	まとめと省察	浜崎	演習	講義を振り返りまとめる	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	松井 典子(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・音を中心とした表現活動の知識・技能を習得することができる。 ・習得した知識から音あそびなどを協働して創造し、表現することができる。 ・協働して創造したあそびを作品や発表にまとめ、外部に発信することができる。							
<b>授業の内容</b> 国際バカロレア (IB) 認定校のプライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) において幼児音楽教育の実務経験を持つ教員による演習授業である。情報リソースを活用し、授業を行う。 音を中心とした多様な表現活動を体験し、活動を通して知識・技能を習得する。習得した知識を応用し、オリジナルの表現活動を創造し、保育・教育現場及び子育て支援で実践することを目的とする。それぞれ興味を持った表現遊びを探究する。							
教科書	なし						
参考書	授業の中で提示する						
担当者からのメッセージ	「表現」を通して自己実現や創る喜びを体験してください。 表現を通して、コミュニケーション力を高めながら協働的な学びができることを重要視します。 各回の授業の詳細は、グループ討論において決定します。そのため、ゼミナールの内容や計画に関して、自分の考えを持ち、主体的に取り組んでいただきたい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業で配付するレジュメや資料は必ずファイリングすること。振り返りシートは、毎回記録し、最終回に提出すること。 質問に対する回答やフィードバックを行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の積極的取り組み度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	授業の振り返りシートの記録及び提出				
	その他	30	制作課題、発表				
	自由記載						
オフィスアワー	松井研究室 火曜日 12時15分～13時 その他随時受付 電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 記録について	松井	講義とグループ討論	総合表現 I の振り返りをして おく	90
2 /	乳幼児の音遊び1 身近な音への気づき	松井	講義と演習	オリエンテーションの内容を 振り返る	90
3 /	乳幼児の音遊び2 音を感じる・音と遊ぶ	松井	講義と演習 グループワーク	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
4 /	乳幼児の音遊び3 身のまわりの音で遊ぶ	松井	講義と演習 グループワーク	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
5 /	音を中心とした表現遊び1 民族楽器で音遊び	松井	講義と演習 グループワーク	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
6 /	音を中心とした表現遊び2 民族楽器で音遊び	松井	講義と演習 グループワーク	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
7 /	音を中心とした表現遊び3 音の創作	松井	講義と演習 グループワーク	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
8 /	発表 ゼミナール I のまとめ ゼミナール II に向けて	松井	講義と演習 グループ討議	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	林 幸範(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・特別支援教育についての現状や背景などの基礎的な知識を理解することができる。 ・特別支援教育の対象の子どもについての特徴と対応法の基礎を理解することができる。 ・子どもの虐待についての現状や背景などの基礎的な知識を理解することができる。 ・子どもの虐待又は疑いのある子どもについての特徴と対応法の基礎を理解することができる。 ・それ以外の特別な支援を必要とする子どもの特徴と支援の基礎を理解することができる。							
<b>授業の内容</b> 本演習では、現在保育・教育界で重要視されている「特別支援教育」について、その考え方、現状・背景、その対応の仕方などについて考えていく。さらに、特別支援教育は、主に発達障害の子どもが対象であったが、現在では、学校や園での指導や援助を必要としている子ども全てが対象となった。このような子どもたちについて一緒に考えてみるのが本演習である。 なお、学外見学・がくがいしも予定している。							
教科書	『よくわかる！ 教職エキササイズ 特別支援教育』 石橋裕子・林幸範編著（ミネルヴァ書房） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	本講義は、演習なので学生主体で実施する。なお、授業の詳細は、第1回目に説明をする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	「テーマシート」を実施した場合は、次週に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	「テーマシート」など提出物の評価				
自由記載							
オフィスアワー	林研究室 月～水曜日 12時10分～13時 木曜日 12時40分～13時20分 事前に連絡ください						
担当教員E-mail	y-hayashi@sumire.ac.jp（林）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	イントロダクション ー本講義の授業の進め方ー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	60
2 /	なぜ特別支援教育が生まれたのか ー特別支援教育の歴史と概念ー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
3 /	特別支援教育の対象となる子とは1 ー園や学校で困り感のある子ども達：発達障害とはー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
4 /	特別支援教育の対象となる子とは2 ーがんでわかりにくい子とは：自閉症スペクトラムー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
5 /	特別支援教育の対象となる子とは3 ー勉強がうまくいかない子とは：LD・知的障がいー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
6 /	特別支援教育の対象となる子とは4 ー落ち着きのない子とは：ADHD・その他の発達障害ー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
7 /	子どもの虐待とは ー子どもの虐待とその実態はー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
8 /	まとめ ー今までのテーマの再考ー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	永久 欣也(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・保育の歴史や現代の課題について考察・文章化しようとする事ができる。 ・自ら課題を見つけ自分なりの結論を模索することができる。 ・対話的姿勢を身につけることができる。 ・プレゼンテーションのための資料収集やスライド作成ができる。							
<b>授業の内容</b> 保育の分野にも国際化の波は押し寄せてきているが、多文化共生の保育のあり方や現代の課題について、自らの興味に基づく研究を考察・文章化し、パワーポイントやパネルなどを用いての発表をしていく。また、多文化共生の保育のための教材研究も行っていく。							
教科書	なし						
参考書	適時アドバイスしていく						
担当者からのメッセージ	必要な文献や資料収集は各自で購入または図書館などを積極的に利用し、自ら問いをもって主体的に参加することで学びを深めること。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	個別に進行状況や今後の見通し等を確認し指導していく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業への積極的な姿勢や資料収集等への取り組み				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	60	研究成果の準備・発表等				
自由記載							
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等での連絡があれば他の時間への調整は可						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP10)【態度・志向性】 子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】 人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 専門演習の進め方	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する 自らの研究テーマを考える	90
2 /	研究テーマの設定と研究方法	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する 研究テーマの概要を考える	90
3 /	個々のテーマの発表と文章の書き方について	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
4 /	研究方法の理解 「文献や資料収集について」	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
5 /	研究内容の構成と文章作成	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
6 /	テーマごとの発表	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
7 /	研究内容の再構築について	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
8 /	研究テーマの省察	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
9 /					9
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	三上 佳子(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・遊びの中で子どもたちの興味関心を見取り、環境構成や援助につなげるようになる。 ・子どもの主体性を引き出す具体的な実践から保育者の関わりを学ぶことができる。 ・保育ドキュメンテーション等でまとめ、中間発表し、相互評価をする。							
<b>授業の内容</b> 幼稚園及び教育行政の経験を踏まえ、専門演習 I を指導する。 遊びの中で、子どもの主体性を引き出すために、保育者は子ども理解を基盤に環境を構成し、丁寧な援助をしていくことが求められている。本授業では、保育現場や保育実践の映像等で、保育者が子どもの興味関心を見取り、どのように環境構成や援助につなげているかについて観察し、子どもの主体性を引き出す保育について学ぶ機会とする。学んだことを保育ドキュメンテーション紙芝居等にし、中間発表する。							
教科書	なし						
参考書	大豆生田啓友・おおえだけいこ『日本が誇る!ていねいな保育』 無籙隆『子どもの姿ベースの新しい指導計画』 0～2歳児『子どもの姿ベースの新しい指導計画』 3～4歳児『子どもの姿ベースの新しい指導計画』						
担当者からのメッセージ	保育現場等で直接、子ども達と関わる貴重な機会である。環境構成や援助の方法を学ぶが、その中で『子どもたちの気持ちを尊重する』『一人一人の興味の発見から保育は始まる』ことを大切に参加してほしい。本授業では、演習やグループワークをするが、自主的に考えて行動したり、学生同士が協力して進める態度・姿勢及びまとめ(保育ドキュメンテーション紙芝居等)を評価の対象とする。毎時、専用ファイルを持参すること。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	演習後の振り返りシート等を活用し、子どもの興味関心や保育者の環境構成や援助について学ぶ。振り返りシート等の課題は、コメントを付け定期的に点検し、成果を指導に生かしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	主体的に課題に取り組んでいたかの評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	課題提出				
	その他	30	保育ドキュメンテーションまとめの評価				
	自由記載						
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分(事前に連絡ください)						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp (三上)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 専門演習の学び方・一人一人の興味関心をつなげる指導の理解	三上	講義 演習	講義内容をまとめる	90
2 /	映像の保育実践より保育者の関わりや環境構成を評価視点でチェックし、考察	三上	演習	授業でできなかった振り返りシートをまとめる	90
3 /	園で保育参観をし、子どもの姿や保育者の関わりを観察し、振り返りシートに記述	三上	参観	授業でできなかった園参観の振り返りをまとめる	90
4 /	園で保育参観をし、子どもの姿や保育者の関わりを観察し、振り返りシートに記述	三上	参観	授業でできなかった園参観の振り返りをまとめる	90
5 /	園で保育参観をし、子どもの姿や保育者の関わりを観察し、振り返りシートに記述	三上	参観	授業でできなかった園参観の振り返りをまとめる	90
6 /	保育参観でのエピソードを保育ドキュメンテーションで作成	三上	演習	授業でできなかった保育ドキュメンテーションをまとめる	90
7 /	保育ドキュメンテーションをまとめ、発表の準備	三上	演習	保育ドキュメンテーションによる振り返りし、発表の準備をする	90
8 /	まとめの中間発表と相互評価	三上	演習 発表	成果のまとめを中間発表する	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	柚木たまみ(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・幼児教育保育における音楽表現活動の様々な実践例を知り、それをもとに自ら実践することができる。							
<b>授業の内容</b> この授業は、教員の長年にわたる演奏家としてのキャリア、そして音楽療法士としての臨床経験を生かした「生きた」音楽づくりを目指すものである。 各々がテーマに沿った研究を進めていく。一例として近藤真子（文教大学）考案の「クロックオーケストラ」等を基に、新しい幼児教育のあり方について可能性を探る。 知識を得て、実践し、その結果と考察をまとめるという流れを確実に進行。							
教科書	なし						
参考書	「クロックオーケストラ」 <a href="https://bunkyo.repo.nii.ac.jp/">https://bunkyo.repo.nii.ac.jp/</a> 他、授業内で随時提示、紹介						
担当者からのメッセージ	学生の立場としての学びを、いよいよ教育者、保育者として生かす時が近づいています。 多くの実践を応用して生かすことができるように、言語化してまとめる力もしっかり定着させましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	テーマ研究の進捗状況を随時確認し、助言していく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	研究のまとめと発表に向けた準備のプロセスにおける積極性と意欲を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	研究を進める中で随時小レポートを提出する				
	その他	50	研究発表会の成果を評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	柚木研究室 金曜日 16時10分～17時 その他随時受付 E-mailによる予約が望ましい						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp（柚木）						
教員相互授業参観	研究発表会を公開						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	専門演習Ⅰで決定したテーマの見直し、修正	柚木	講義、演習 アクティブ・ラーニング	レポートの見直し	60
2 /	テーマの見直し、修正	柚木	講義、演習 アクティブ・ラーニング	レポートの見直し	60
3 /	テーマ研究に関する現場実践	柚木	講義、演習 アクティブ・ラーニング	実習準備	60
4 /	テーマ研究に関する現場実践	柚木	演習、実習 アクティブ・ラーニング	実習準備	60
5 /	発表会に向けての準備	柚木	演習、実習 アクティブ・ラーニング	発表会準備	60
6 /	発表会に向けての準備	柚木	演習、実習 アクティブ・ラーニング	発表会準備	60
7 /	発表会Ⅰ	柚木	演習 アクティブ・ラーニング	発表会準備	120
8 /	発表会Ⅱ	柚木	演習 アクティブ・ラーニング	発表	120
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	北尾 岳夫(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・`運動遊び、に関する指導計画の立案と実践ができる。 ・子どもの`野外活動、や`自然体験活動、の意義を理解し、その計画の立案と実践ができる。 ・保育現場での様々な行事やイベントの企画立案ができ、中心となって運営することができる。 ・自分たちの取り組みをまとめたプレゼンテーションができる。							
<b>授業の内容</b> 北尾が担当する専門演習については、`運動遊び、`自然体験活動、`野外活動、という3つのキーワードを設定している。前期の専門演習Ⅰからの流れを受けた具体的な実践活動をするなかで、附属幼稚園の子どもたちとの関わりも予定している。また、専門演習発表会へ向けて、自分たちの取り組みをまとめてプレゼンテーションできる能力も身につけていただく。 北尾担当の専門演習を選択した学生は、幼児体育Ⅲも受講すること。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	専門演習は、担当教員の専門性のもとに、各自の興味関心に対する知識と理解を深める科目である。したがって、主体的な`学び、の度合いや、専門演習報告会に向けての取り組み姿勢が受講態度として評価の対象となる。受け身になることなく、担当教員との積極的なコミュニケーションを図りながら、自分の得意分野を作り上げて欲しい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	専門演習では、授業時間外での取り組みも必要になる場合がある。 必要に応じて、質問に対する回答やフィードバックを行うこととする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業に対する積極的な姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	クラスでの取り組みに関わる貢献度とグループ内での人間関係性				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月曜～木曜日 12時15分～12時45分 ※木曜日12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	発表会に向けての流れ確認	北尾	演習	発表会に向けた流れを確認し 課題を検討しておく	90
2 /	`体験活動、の実践案作成	北尾	演習	体験活動の実施内容について 検討しておく	180
3 /	`体験活動、の必要物品の検討	北尾	演習	体験活動に必要な物品について 検討しておく	180
4 /	`体験活動、の安全確保のための具体案検討	北尾	演習	体験活動の安全確保の具体策 について検討しておく	180
5 /	`体験活動、の役割分担決定	北尾	演習	体験活動の役割について検討 しておく	180
6 /	`体験活動、の実践	北尾	演習	体験活動実施に向けた課題に ついて検討しておく	180
7 /	発表会Ⅰ	北尾	演習	発表会の準備	180
8 /	発表会Ⅱ	北尾	演習	発表会への参加と報告	180
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	深尾 秀一(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・造形作品制作をとおして「自己における絶対」の探求ができる。 ・素材の扱いについて、技術や知識を学ぶ。 ・美術教育の重要性を理解する。							
<b>授業の内容</b> 領域を造形とし、個々の作品制作をとおして「自己における絶対」の探求を主眼としています。自己に内在するイメージの造形表現における具現化を目標とし、そのための素材研究や教材研究などの美術教育についても考えていきます。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	個々の問題意識を中心に進めるため、主体的な取り組みが必須です。素材の取り扱いの違いにより、時間外作業もあります。なお、作品制作に関する材料費は個人持ちとなる事があります。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	研究課題作品に関して、中間発表、および発表展覧会の評価を行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	課題制作への主体的な取り組みを評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	研究課題作品の評価				
自由記載							
オフィスアワー	深尾研究室 水曜日 16時10分～17時10分（事前予約が望ましい） その他メールでの質問随時受付 件名に学籍番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	h-fukao@sumire.ac.jp（深尾）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】 子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 後期研究計画書の作成	深尾	講義と演習	研究の方向性を広い視野で検討しておく	90
2 /	後期研究計画書に基づいて個人指導	深尾	講義と演習	計画書案を完成させる	90
3 /	作品制作指導とセミナー 卒業制作プロジェクト試作作品制作	深尾	演習	研究作試作品の制作	90
4 /	作品制作指導とセミナー 卒業制作プロジェクト作品制作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
5 /	作品制作指導とセミナー 卒業制作プロジェクト作品完成	深尾	演習	研究作品制作を完成させる	90
6 /	卒業制作プロジェクト展示準備	深尾	演習	展示における空間の使用法を検討しておく	90
7 /	発表会Ⅰ	深尾	講義と演習	展示	90
8 /	発表会Ⅱ	深尾	講義と演習演習	発表	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	松木 宏史(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・各自が研究テーマを明らかにして卒業研究に取り組める。 ・卒業研究を行うことで、基本的な文章力や問題解決能力を身につける。 ・現場で子どもたちにかかわることで実践力を身につける。							
<b>授業の内容</b> 社会福祉施設での実務経験を持つ教員による演習である。 学生の興味・関心に沿った研究発表あるいは実践発表が中心となる。 フィールドワークも取り入れて現場からも学んでいく。							
教科書	なし						
参考書	学生の研究テーマに沿いゼミナールの中で紹介する						
担当者からのメッセージ	前期に培った「考える力」「まとめる力」をもとに、それぞれの研究テーマを深めていってほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	発表のつど、教員からコメントを行う。また、研究発表・実践発表の原稿等については添削指導を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	現場での実践をもとに評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	研究発表・実践発表				
自由記載							
オフィスアワー	松木研究室 木曜日 12時40分～13時10分（事前にメール等で予約を取ること）						
担当教員E-mail	h-matuki@sumire.ac.jp（松木）						
教員相互授業参観	現場実践については先方の都合により公開できない場合がある						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP10)【態度・志向性】 子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】 人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション, セミナール進行について話し合い	松木	講義・グループワーク	後期のゼミでの自身の目標を定める	60
2 /	フィールドワーク事前学習	松木	学生による自己学習 教員による指導	自己学習の復習	60
3 /	フィールドワーク(1)	松木	実践現場でのフィールドワーク	フィールドワークレポートを作成する	120
4 /	フィールドワーク(2)	松木	実践現場でのフィールドワーク	フィールドワークレポートを作成する	120
5 /	フィールドワーク(3)	松木	実践現場でのフィールドワーク	フィールドワークレポートを作成する	120
6 /	フィールドワーク(4)	松木	実践現場でのフィールドワーク	フィールドワークレポートを作成する	120
7 /	発表会Ⅰ	松木	学生による研究発表	8回目と連続授業	0
8 /	発表会Ⅱ	松木	学生による研究発表	発表会の振り返りレポート作成	180
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	久米 央也(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・幼稚園や保育園、認定こども園で、園児が算数の素地を遊びながら学べるためにできること（カリキュラム開発や教材作り、保育環境など）を調査研究することができる。 ・園児が遊びながら算数の素地を学ぶことができる教材開発の成果や、保育環境やカリキュラムのまとめた結果を研究発表することができる。							
<b>授業の内容</b> 園児が数・量・図形に興味を持ち、遊びながら算数の素地を学ぶには、どのような教育プログラムや教材、保育環境を用意すればよいのかについて、各自がテーマを決めて研究を進めていく。演習Ⅰの中間発表会での相互評価で分かった課題をもとに、研究方法等を修正する。最後に、研究成果（論文、教材など）をまとめ、研究発表会で発表する。							
教科書	なし						
参考書	テーマにあった参考書を提示する						
担当者からのメッセージ	幼児教育において、数・量・図形の興味関心や感覚を養うことは大切なねらいのひとつです。各自が、テーマをもって主体的に調査研究を進めていきます。成績評価の「受講態度」については、「主体的に取り組んでいるか」を観点とします。「わたしは大学で確かに～について研究しました」と言えるように、サポートしていきます。研究成果物は実際に幼稚園で試行してもらいます。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎時間、研究の進捗状況について、個別に指導をしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	主体的に自分の研究したいことに対し取り組んでいたかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	園児の観察レポートや教材の分析レポートから授業の理解度を評価する				
	その他	30	作成した教材が幼児の数学的思考力を育むことができるかを評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前に連絡してください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP2)【知識・理解】幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	専門演習Ⅰで見つけた課題を克服するための 研究内容や方法の修正を考える 研究テーマを設定する 研究計画を立てる	久米	演習	研究計画を見直す	100
2 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材の準備)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
3 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材の作成)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
4 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材の作成)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
5 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材の作成・使い方の説明作成)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
6 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める 作成した教材等を幼稚園で試す 研究の成果をまとめて、研究発表会の準備をする	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける 幼稚園での活動をまとめる 研究成果の発表準備をする	100
7 /	発表会Ⅰ	久米	演習	他の発表を評価する	100
8 /	発表会Ⅱ	久米	演習	専門演習を振り返る	100
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	李 霞(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar II							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ 幼児に対する理解とともに、保育者の役割に対する理解を深める。 ・ 幼児との関わり方や援助の方法について学び、それらを運用することができる。							
<b>授業の内容</b> 幼児教育は生きる力の基礎を培うことを目的としており、保育者には子どもの目線に合わせたより良い保育の実践を提供する努力が求められる。生きる力の基礎を育むために必要な視点や方法を究明し、それらを運用する力を身につけることを目指して、本授業では、幼児との関わり方や幼児に対する援助の方法を中心に学び、さらに、幼児教育の現場に赴き、そこで経験した具体的な事例に基づいて考えていく。							
教科書	なし						
参考書	安見克夫『3. 4. 5歳児への言葉かけ 実践！ふれあいテクニック』Gakken 原坂一郎『子どもがこっちを向く「ことばかけ」』ひかりのくに 若林千種『気になる子の保育がうまくいく方法』ひかりのくに など						
担当者からのメッセージ	グループワークも多く取り入れているため、積極的な参加が不可欠である。 講義内容について、常に「自分はどうか」「自分ならどうするか」を考えながら受講すること。 毎回授業の終わりにその時間に学んだことや考えたことをポートフォリオにまとめて授業を終了する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、授業を受けた感想を一枚ポートフォリオに書いてもらう。回収したポートフォリオや復習用ワークシートの添削を行い、次の授業時に学生に返却する。授業内容に対する学生たちの理解を深めるために、学生の中でよくできた感想や模範解答を授業開始時にスライドにて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	毎回授業を受けた感想の提出を求める				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	一学期の授業を振り返って、気づいたこと、重要と思ったことに関するレポート				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	李研究室 月・火・水曜日 12時15分～12時50分						
担当教員E-mail	k-lee@sumire.ac.jp (李)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	幼児をまるごと受け入れるとはⅠ ・子どもが泣いたとき ・子どもがうそをついていると思われたとき ・食事中にトラブルがあった時 ・おねしょやお漏らしをしたとき	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習してもらうように指 示する	40
2 /	幼児をまるごと受け入れるとはⅡ ・挨拶の返事ができないとき ・子どものあいさつに元気がないとき ・子ども達の返事が間延びしているとき	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習してもらうように指 示する	40
3 /	幼児をまるごと受け入れるとはⅢ ・集団活動に取り組めないとき ・大人に甘えるとき	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	復習 次回小テストのため第1～4 回の授業内容を復習する	60
4 /	子どもに満足感を与えるためにⅠ ・子どもが泣き止まないとき ・子どもが次々と自分の要求を言うとき	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習してもらうように指 示する	40
5 /	子どもに満足感を与えるためにⅡ ・子どもが騒ぎ出すとき ・遊びに集中できないとき	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習してもらうように指 示する	40
6 /	子どもに満足感を与えるためにⅢ ・子ども達に対することばがけの工夫	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	復習 次回小テストのため第5～7 回の授業内容を復習する	60
7 /	発表会Ⅰ	李	演習	発表会当日の準備	90
8 /	発表会Ⅱ	李	演習	発表	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	浜崎 由紀(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・実践演習Ⅰから学んだことを踏まえ、自己課題を明確にし、作品づくりに取り組むことができる。 ・作品内容の理解を深める。 ・活動をとおして子ども理解をさらに深める。 ・児童文化活動について理解し、プログラムを作成、実践をすることができる。							
<b>授業の内容</b> 実践演習Ⅰから学んだことを踏まえ、自己課題を明らかにし、作品づくりに反映する。活動を積極的に行い、子どもの鑑賞態度から子ども理解や作品理解につなげる。児童文化活動について理解し、プログラムを各自作成し、実践につなげられるようにする。グループでの活動が多いため、コミュニケーションを取りながら、作品づくりに取り組んでほしい。							
教科書	なし						
参考書	適宜、授業時に紹介する						
担当者からのメッセージ	記録のため、毎時、ノートを持参すること。 参考文献を紹介するので、積極的に読むこと。人形劇を観劇する機会があれば、是非鑑賞してほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は、コメントをつけて適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	10	課題レポート				
	その他	50	研究成果物（25%）、発表（25%）				
自由記載							
オフィスアワー	浜崎研究室 月・火・木・金 12時15分～13時						
担当教員E-mail	y-hamasaki@sumire.ac.jp（浜崎）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 専門演習Ⅰの振り返りと自己課題	浜崎	講義 演習	講義内容をまとめる 自己課題についてまとめる	120
2 /	作品研究と制作(1) 研究計画の立案	浜崎	演習 アクティブ・ラーニング	テーマに合わせて必要な資料 収集と制作を行う	180
3 /	作品研究と制作(2) 資料収集、制作	浜崎	演習 アクティブ・ラーニング	テーマに合わせて必要な資料 収集と制作を行う	180
4 /	作品研究と制作(3) 分析、制作	浜崎	演習 アクティブ・ラーニング	テーマに合わせて必要な資料 収集と制作を行う	180
5 /	作品研究と制作(4) 分析結果のまとめ、制作	浜崎	演習 アクティブ・ラーニング	テーマに合わせて必要な資料 収集と制作を行う	180
6 /	作品研究と制作(5) 研究成果のまとめ	浜崎	演習 アクティブ・ラーニング	テーマに合わせて必要な資料 収集と制作を行う	180
7 /	発表会Ⅰ	浜崎	演習 アクティブ・ラーニング	作品研究、制作発表の準備・ 練習	180
8 /	発表会Ⅱ	浜崎	演習 アクティブ・ラーニング	作品研究、制作発表の準備・ 練習	180
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	松井 典子(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ゼミナールⅠで習得した知識・技能をもとに活用することができる。 ・幼児の表現の発達を理解し、音を中心とした表現活動を構想し、計画することができる。 ・考案した表現活動をまとめ指導法をグループで作成し、保育現場で実践することができる。							
<b>授業の内容</b> 国際バカロレア (IB) 認定校のプライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) において幼児音楽教育の実務経験を持つ教員による演習授業である。情報リソースを活用し、授業を行う。 ゼミナールⅠの学びを応用・発展し、保育現場で実践できる多様な表現活動を考案する。また、表現活動の幅を広げる目的で教材研究を行い、様々な指導法や環境構成等を学ぶ。ゼミナールⅡは、保育実践をとおして、振り返り、活動内容の改善点などを討議し、実際の保育現場で活かすことができる音楽表現を協働して探究する。							
教科書	なし						
参考書	授業の中で提示する						
担当者からのメッセージ	指導案の作成を実施するため、教材研究を自主的に行うこと。 主にグループワークを行うので、積極的に授業に参加し、コミュニケーション力を身につけてほしい。 また他者の表現活動に共感し、学び合いさまざまな表現活動をとおして豊かな感性を磨いてほしい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	個々にコメントし、今後の課題をアドバイスする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の積極的参加度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	30	振り返りシートへの記録及び提出				
	その他	20	指導案及びレポート課題の提出				
	自由記載						
オフィスアワー	松井研究室 火曜日 12時15分～13時 その他随時受付 電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	発表会については公開する						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション	松井	演習	ゼミナールⅠの振り返りをしておく	90
2 /	音を中心とした表現活動の指導法と実践1 リトミックを取り入れて	松井	講義と演習 グループ討議	指定された文献を読み事前学習しておく 記録の綴り	90
3 /	音を中心とした表現活動の指導法と実践2 身体表現と音楽表現の融合	松井	講義と演習 グループ討議	指定された文献を読み事前学習しておく 記録の綴り	90
4 /	音を中心とした表現活動の指導法と実践3 視覚的教材と音楽表現について	松井	講義と演習 グループ討議	指定された文献を読み事前学習しておく 記録の綴り	90
5 /	実践例をもとに創作活動1 指導案の作成	松井	講義と演習 グループ討議	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
6 /	実践例をもとに創作活動2 指導案をもとに実践	松井	講義と演習 グループ討議	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
7 /	発表会Ⅰ	松井	演習	発表会	90
8 /	発表会Ⅱ	松井	演習	記録の綴り(発表会の振り返り)	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	林 幸範(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・各自の課題テーマについて理解することができる。 ・各自の課題テーマについてとめ、他者に伝えることができる。							
<b>授業の内容</b> 本演習では、自分の課題テーマを見つけ、調べ、レポートにまとめ、発表することを実施する。 なお、学外見学・授業も予定している。							
教科書	なし						
参考書	適宜、授業内で紹介						
担当者からのメッセージ	各自で調べることが重要となるので、積極的に参加を。さらに、各自の課題テーマについての話し合いも実施するので、積極的に参加を。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	疑問に対しては、その都度フィードバックをする。 なお、課題やレポートなどについては、最後に冊子にする予定。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	課題のレポート				
	その他	50	課題の発表会				
	自由記載						
オフィスアワー	林研究室 月～水曜日 12時10分～13時 木曜日 12時40分～13時20分 事前に連絡ください						
担当教員E-mail	y-hayashi@sumire.ac.jp (林)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	イントロダクション	林	討議	講義内容のまとめ	60
2 /	課題テーマを決めよう 1	林	討議と課題テーマ表の作成	課題テーマ表の作成 講義内容のまとめ	60
3 /	課題テーマを決めよう 2	林	討議と課題テーマ表の作成	課題テーマ表の作成 講義内容のまとめ	60
4 /	自分の課題テーマのレポートを作成しよう	林	課題テーマのレポートの作成	課題テーマのレポートの作成	120
5 /	自分の課題テーマのレポートを作成しよう	林	課題テーマのレポートの作成	課題テーマのレポートの作成	120
6 /	自分の課題テーマのレポートを作成しよう	林	課題テーマのレポートの作成	課題テーマのレポートの作成	120
7 /	発表会 I	林	演習	発表会当日の準備	180
8 /	発表会 II	林	演習	発表	180
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	永久 欣也(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar II							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・保育の歴史や現代の課題について考察・文章化しようとする事ができる。 ・自ら課題を見つけ、自分なりの結論を模索することができる。 ・対話的姿勢を身につけることができる。 ・プレゼンテーションのための資料収集やスライド作成ができる。							
<b>授業の内容</b> 専門演習Ⅰでの研究を基に、多文化共生の保育のあり方や現代の課題について、より深く研究を考察し、パワーポイントやパネルなどを用いての発表をしていく。また、多文化共生の保育のための教材研究も行っていく。							
教科書	なし						
参考書	適時アドバイスしていく						
担当者からのメッセージ	必要な文献や資料収集は、各自で購入または図書館などを積極的に利用し、自ら問いをもって主体的に参加することで学びを深めること。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	個別に進行状況や今後の見通し等を確認し指導していく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	研究発表に向けての取り組みの姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	60	研究成果の発表				
自由記載							
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等での連絡があれば他の時間への調整は可						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】 自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】 人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 研究テーマの再確認	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
2 /	発表に向けての話し合い	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する 研究テーマへのアプローチを考える	90
3 /	研究指導1 資料等の収集および整理	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
4 /	研究指導2 多文化共生のための教材製作	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
5 /	研究指導3 研究成果をまとめる	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する レポート作成	90
6 /	プレゼンテーションの方法を考える	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する 自らの発表方法を考える	90
7 /	発表会Ⅰ	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する 発表準備	90
8 /	発表会Ⅱ	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	三上 佳子(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・遊びの中で子どもたちの興味関心を見取り、環境構成や援助につなげるようになる。 ・子どもの主体性を引き出す具体的な実践から保育者の関わりを学ぶことができる。 ・保育ドキュメンテーション紙芝居等で最終まとめをし、研究を発表する。							
<b>授業の内容</b> 幼稚園及び教育行政の経験を踏まえ、専門演習Ⅱを指導する。 遊びの中で、子どもの主体性を引き出すために、保育者は子ども理解を基盤に環境を構成し、丁寧な援助をしていくことが求められている。本授業では、保育現場や保育実践の映像等で、保育者が子どもの興味関心を見取り、どのように環境構成や援助につなげているかについて観察し、子どもの主体性を引き出す保育について学ぶ機会とする。学んだことを保育ドキュメンテーション紙芝居等で最終まとめをし、研究を発表する。							
教科書	なし						
参考書	大豆生田啓友・おおえだけいこ『日本が誇る!ていねいな保育』 無籙隆『子どもの姿ベースの新しい指導計画』 0～2歳児『子どもの姿ベースの新しい指導計画』 3～4歳児『子どもの姿ベースの新しい指導計画』						
担当者からのメッセージ	保育現場等で直接、子ども達と関わる貴重な機会である。環境構成や援助の方法を学ぶが、その中で『子どもたちの気持ちを尊重する』『一人一人の興味の発見から保育は始まる』ことを大切に参加してほしい。本授業では、演習やグループワークをするが、自主的に考えて行動したり、学生同士が協力して進める態度・姿勢及び(保育ドキュメンテーション紙芝居等)を評価の対象とする。市外の園訪問では現地集合とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	演習後の振り返りシート等を活用し、子どもの興味関心や保育者の環境構成や援助について学ぶ。振り返りシート等の課題は、コメントを付け定期的に点検し、成果を指導に生かしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	主体的に課題に取り組んでいたかの評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	課題提出				
	その他	30	保育ドキュメンテーションまとめの評価				
	自由記載						
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分(事前に連絡ください)						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp (三上)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 専門演習Ⅰの振り返りと自己課題 すみれガーデンで保育者の指導を学ぶ	三上	演習	自己課題をもつ すみれガーデンでまとめをする	90
2 /	園で保育参観をし、子どもの姿や保育者の関わりをを観察し、振り返りシートに記述	三上	保育参観	授業でできなかった保育参観の振り返りをまとめる	90
3 /	園で保育参観をし、子どもの姿や保育者の関わりをを観察し、振り返りシートに記述外部講師による講話	三上	保育参観	授業でできなかった講話も含めた振り返りをまとめる	90
4 /	保育参観でのエピソードを保育ドキュメンテーションにまとめる	三上	演習	授業でできなかった保育ドキュメンテーションをまとめる	90
5 /	保育ドキュメンテーションを紙芝居等にまとめ、発表の仕方を考え、準備をする	三上	演習	授業でできなかった保育ドキュメンテーション紙芝居等の制作をする	90
6 /	保育ドキュメンテーションを紙芝居にまとめ、発表の練習をする	三上	演習	授業でできなかった発表を復習する	90
7 /	発表会Ⅰ	三上	他の発表の評価	他の発表を評価する	90
8 /	発表会Ⅱ	三上	発表	専門演習を振り返る	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>公務員教育保育職特別講義Ⅱ</b>	久米 央也(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	
							実務経験
Special Lecture for Kindergarten Nursery Teacher Recruitment Examination Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・公立の幼稚園、保育所、認定こども園への就職を目指し、試験に合格するためのスキルを身につける。 ・採用試験における主要科目（数的推理・判断推理）の出題傾向を理解する。 ・論文の書き方、面接の応え方について基本的な技能を身につける。							
<b>授業の内容</b> さまざまな例題（主に数的推理、判断推理）を提示し、解説を行う。その後、練習問題を解いていき、理解を深めていく。また、模擬論文、模擬面接を繰り返し行い、採用試験に対応できるようにする。なお、毎回一般常識、漢字にかかわる課題が出るので、その課題を次の授業までにきっちりとこなしていくことが求められる。							
教科書	なし						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	公務員試験に合格したいという熱意を持って受講してください。また、毎回の課題はきっちりと取り組んでください。短い期間なので集中して学びましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	次回の授業の冒頭に、課題について解説をし回収する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	積極的に学ぼうとしているかを評価する				
	授業内試験	20	毎回実施する小テストで、学んだことを理解しているかを評価する				
	定期試験	50	授業で学んだことを理解できているかを評価する				
	レポート						
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前に連絡をください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 基礎学力の確認	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
2 /	判断推理1 命題、集合、発言	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
3 /	判断推理2 対応関係、試合、順序関係	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
4 /	判断推理3 暗号、規則性、方角、経路、平面図形、空間 図形	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
5 /	数的推理1 計算、数列、損益算、金銭算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
6 /	数的推理2 金銭算、料金割引、年齢算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
7 /	数的推理3 植木算、鶴亀算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
8 /	数的推理4 速さ、仕事算、水槽算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
9 /	数的推理5 旅人算、通過算、流水算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
10 /	数的推理6 濃度算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
11 /	数的推理7 場合の数、順列、組合せ	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
12 /	数的推理8 確率、長さ、面積、体積	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
13 /	数的推理9 角度、平面図形、空間図形	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習 面接の予習	100
14 /	面接対策	久米	講義と演習	面接の自主練習 (様々な質問の回答を考えて おく)	100
15 /	論文対策	久米	講義と演習	論文の完成	100
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>レクリエーション演習 (幼教)</b>	山中 博史(専 任)	2年次	前期	1	演習	-	○
							実務経験
Exercise Recreation							
資格等取得との関連	レクリエーション・インストラクター資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・レクリエーション活動のねらい、ルールを理解し、技術を身につける。 ・活動内容を理解し提供（支援・指導）できる能力をつける。							
<b>授業の内容</b> 1 回生で受講したレクリエーション概論をベースに、レクリエーションインストラクターの資格取得に必要なレクリエーション種目を演習する。レクリエーション活動のねらい、ルールを理解し、技術を身につけることを目的とする。それと同時に活動の内容を理解し提供する（支援指導する）ことができるようにする。 なお本演習はレクリエーション・インストラクター資格取得の必修科目である。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	本演習で学んだことを後期のレクリエーション指導法実習で、幼児の指導に生かして欲しい。受講態度は、積極的に演習に取り組んでいるかで評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	必要に応じて、フィードバックを行い、最後の試験に対応できるようにする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	70	演習に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	30	各種目の理解度を確認するために実施する				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 月・火・水曜日 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	体操 (ウォーミングアップ・導入の遊び)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
2 /	体操 (クールダウンを含めた体ほぐし)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
3 /	鬼ごっこ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
4 /	かけっこ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
5 /	マットを使った遊び	山中	演習	演習内容をまとめる	90
6 /	縄を使った遊び	山中	演習	演習内容をまとめる	90
7 /	ボール遊び (サッカーを中心に)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
8 /	ターゲットバードゴルフ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
9 /	フライングディスク	山中	演習	演習内容をまとめる	90
10 /	キャッチングザスティック・バンブーダンス	山中	演習	演習内容をまとめる	90
11 /	サツマイモの苗植え	山中	演習	演習内容をまとめる	90
12 /	ペタンク	山中	演習	演習内容をまとめる	90
13 /	インディアカ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
14 /	ウォークラリー	山中	演習	演習内容をまとめる	90
15 /	ふりかえり・試験	山中	講義	講義内容をまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
レクリエーション指導法実習 (幼教)	山中 博史(専 任)	2年次	後期	1	実習	-	○
							実務経験
Coaching Method of Recreation							
資格等取得との関連	レクリエーション・インストラクター資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・附属幼稚園の園児を対象に遊びの支援、指導を行う。 ・支援力、指導力を高める。							
<b>授業の内容</b> レクリエーション概論、レクリエーション演習で学んだことをもとに、本学附属幼稚園の協力を得て、実際に園児を対象に指導の補助、そして指導を行う。 また、学外での事業に参加してレクリエーション支援の現場でのレクリエーション活動、レクリエーション提供を体験する。 なお本実習はレクリエーションインストラクター資格取得の必修科目である。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	附属幼稚園の協力得て実際に幼児を対象に「遊び」の指導を行う。安全面では十分に配慮してもらいたい。 日本レクリエーション協会や滋賀県レクリエーション協会の主催する学外での行事に参加者やスタッフとして参加する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回の演習の中で必要に応じてフィードバックを行う。 課題としてレポートを提出をしてもらうこともある。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	80	実習に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	実習を振り返り、レポートを提出する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 月・火・水曜日 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身に付け、実践することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	ガイダンス 附属幼稚園との関わりの説明 園児の指導について注意事項の説明	山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
3 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
4 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
5 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
6 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
7 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技台・ ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
8 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技台・ ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
9 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技台・ ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
10 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技台・ ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
11 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技台・ ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
12 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技台・ ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
13 /	レクリエーションスポーツ大会参加	山中	学外実習	実習内容を振り返る	90
14 /	レイカディアフェスティバル参加	山中	学外実習	実習内容を振り返る	90
15 /	ふりかえり・レポート作成	山中	講義	今までの振り返りレポート作 成	90
/					